地上デジタルハイビジョン液晶テレビ

PRODIA 取扱説明書

このたびは、地上デジタルハイビジョン液晶テレビ「PRD-LF122B」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書（以下、本書）をよくお読みのうえ正しくお使いください。

型番 PRD-LF122B

安全上のご注意

ご使用時は、以下の項目を守ってください。

⚠ 警告　火災や感電などにより、死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

行為を指示する項目

以下の場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

- 故障している
- 異音、異臭、煙が出ている
- 本製品の表面が破損した

火災、感電、故障の原因になります。
修理・点検はお買い求めいただいた販売店、または弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

本製品に付属の電源ケーブルを使用する

火災や感電、故障の原因になります。
電源ケーブルが破損したときは、弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

何か異常が起こったときに、すぐに電源プラグを抜けるよう設置する

火災の原因になります。
修理・点検はお買い求めいただいた販売店、または弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

電源プラグのほこりなどは、定期的に掃除する

火災の原因になります。電源プラグはコンセントから抜いて、乾いた布でふいてください。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因になります。

屋外アンテナの設置や工事は専門業者に依頼する

感電やけがのおそれがあります。
設置・工事は本製品のお買い上げ店または、電器店に相談してください。

壁に取り付ける場合は、かならず専門業者に依頼する

落下し、けがの原因になります。
工事は本製品をお買い求めいただいた販売店、または電器店に相談してください。

行為を禁止する項目

本製品の表面が破損したときは、以下のことを守る

- 電源プラグをコンセントから抜くまで、本製品に触らない
- 目や口に液晶を入れたり、ガラスの破片に触らない

けが・中毒・かぶれの原因になります。もれた液晶が誤って目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

本製品の分解や改造、修理などは絶対にしない

火災や感電、故障の原因になります。修理は弊社ユーザーサポートセンターまでご相談ください。

振動や衝撃がある場所や、傾斜しているなど、不安定な場所に置かない

転倒または落下し、故障やけがの原因になります。

本製品の上にものを置いたり、本体の通風孔をふさがない

内部温度が上昇したり、液体や金属類が内部に入ると、火災・感電・故障の原因になります。

乗り物の中や船舶の中などで使用しない

転倒して、けがの原因になります。

日本国外で使用しない

故障の原因になります。

本製品の内部に指や物を入れない

けがや感電、故障の原因になります。

本製品を水につけたり、濡れた手で触れない

感電や故障の原因になります。

雷鳴が聞こえたときは、本製品に触れたり使用しない

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源ケーブルを熱器具に近づけたり、破損させたりしない

火災・感電の原因になります。

電池が液もれしているときは、素手で触らない

皮膚の炎症や失明の原因になるおそれがあります。電池からもれた液が皮膚や衣服に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。

⚠注意　感電・その他事故などにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与える可能性がある内容です。

行為を指示する項目

小さなお子様の手が届かない場所に設置する

けがの原因になります。

内部の掃除はお買い上げ店に依頼する

内部にほこりがたまると火災・故障の原因となることがあります。3年に1度は内部の掃除をお買い求めいただいた販売店にご依頼ください。

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグにほこりがたまり、火災や感電の原因になります。

電池の取り扱いは以下のことを守る

- 単4形(1.5v)以外の電池は使用しない
- 正しい極性(+/ー)でセットする
- 使用推奨期限が過ぎた電池や、使い切った電池は使用しない
- 種類の違う電池、新しい電池と使用した電池を併用しない

液もれや破裂などによって、やけど・けがの原因になります。

本製品を運ぶときは、以下のことを守る

- 2人以上でしっかり持って運ぶ
- 接続されているケーブル類をすべてはずす
- 衝撃を与えないように運ぶ

転倒または落下し、故障やけがの原因になります。

適度な音量で楽しむ

周囲の人の迷惑とならないよう、適度な音量でお楽しみください。
ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。

適度な距離で、部屋を明るくして見る

視力が低下するおそれがあります。

行為を禁止する項目

液晶画面に物をぶつけない

液晶が割れて、けがの原因になります。

液晶画面を指などで強く押さない

液晶が割れて、けがの原因になります。

直射日光が当たったり、極度に温度が高い場所に置かない

火災・故障の原因になります。

風通しが悪い場所や、引火の恐れがある場所に置かない

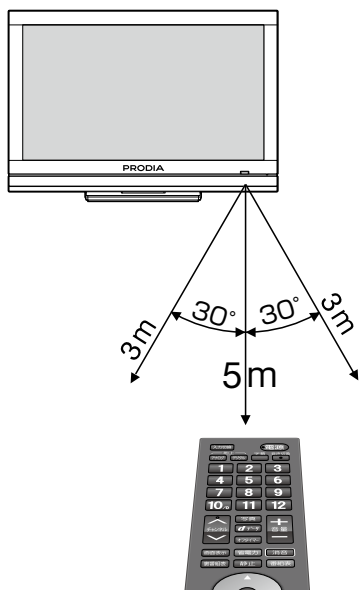
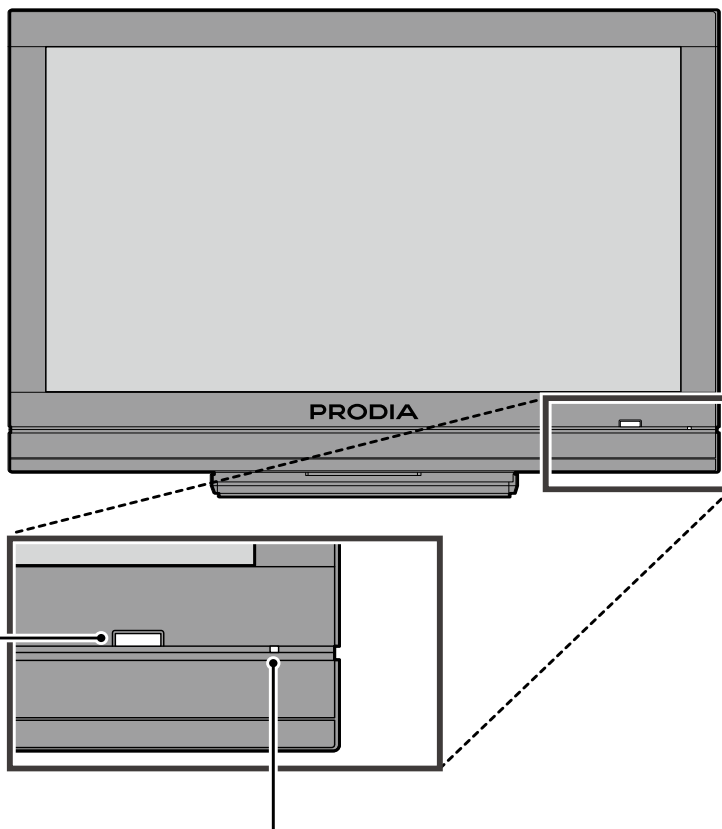
内部温度が上昇し、火災・故障の原因になります。

ほこり・油煙・湿気の多い場所に置かない

火災・感電の原因になります。

本体の機能：正面

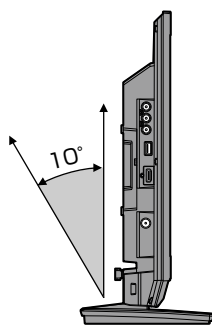
受光部

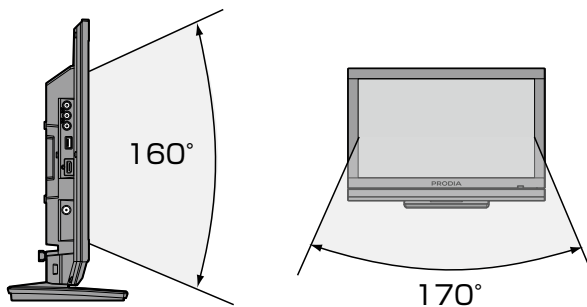
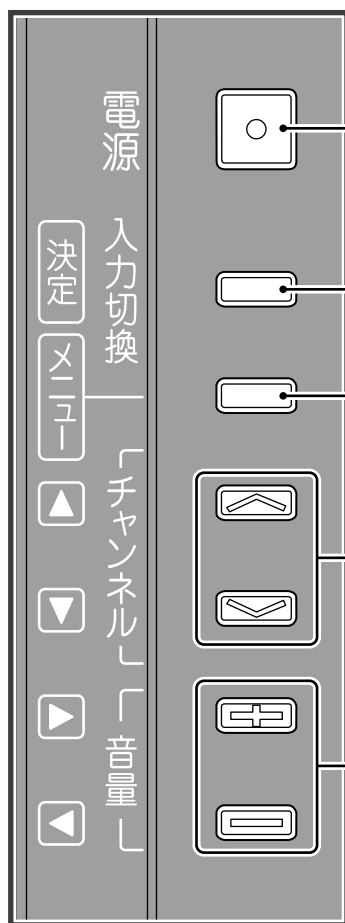
リモコンの信号を受信します。
操作範囲内で操作してください。

正面	約5m
上 30°	約3m
下 30°	
左 30°	約3m
右 30°	

電源ランプ

本機の状態を示します。
電源ランプは正面から見てください。

ランプの光り方	本機の状態
消灯	電源ケーブルが接続されていません
赤	待機中(電源/切)
緑	視聴中(電源/入)
オレンジ/緑(点滅)	内部処理中

チルトの角度について

チルトの角度は 後ろ 10° です。

視野角について

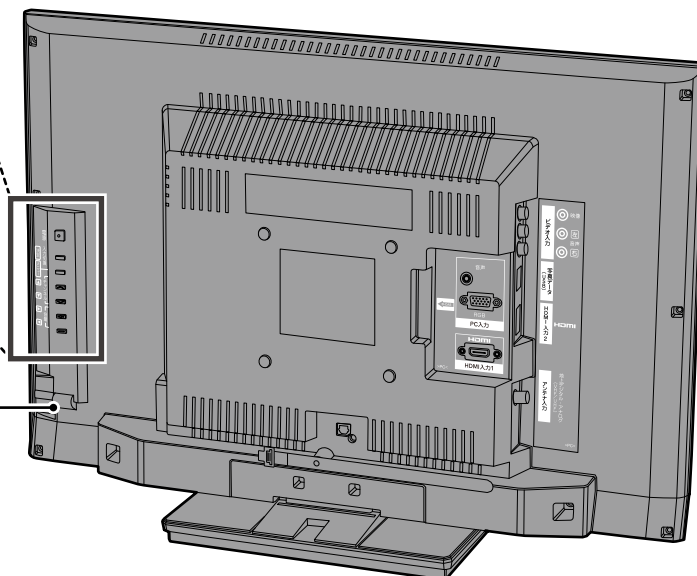
視野角は上下 160° 左右 170° です。
視野角を超えると視聴しづらくなります。

本体の機能：背面 1

電源
本機の電源を入 / 切します。

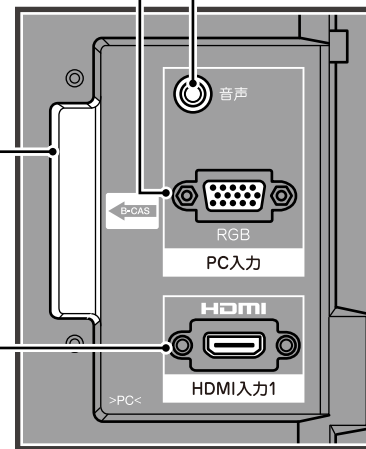
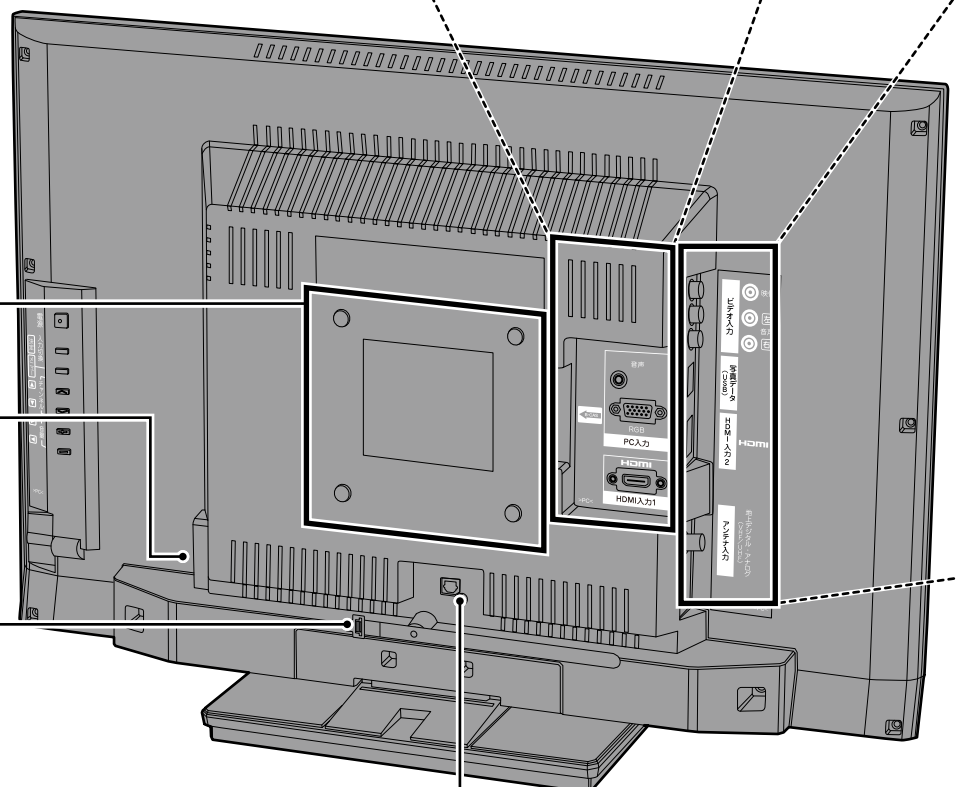
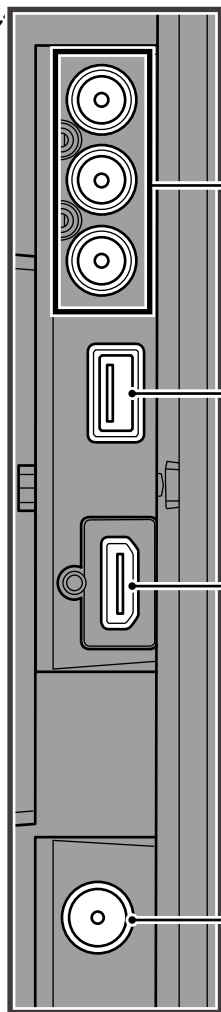
入力切換
入力を切り換えます。
入力先一覧が画面に表示されます。
※ メニュー画面のときは決定ボタンになります。
P.11「入力を切り換える」

メニュー
メニュー画面を表示します。
P.20「メニュー画面で設定できる項目を確認する」

チャンネル切換
チャンネルを昇順 / 降順に切り換えます。
※ メニュー画面内では上下ボタンになります。

音量調節
音量を調節します。
※ メニュー画面内のときは左右ボタンになります。

音声出力（ヘッドホン端子）
ヘッドホン（市販品）を接続します。
P.38「ヘッドホンや外部スピーカーと接続する」

本体の機能：背面 2

パソコン入力（RGB 入力端子）
パソコンの映像出力端子からディスプレイケーブル（市販品）を接続します。
P.36「パソコン(PC)と接続する」
パソコン音声入力（ステレオミニジャック端子）
パソコンの音声出力端子からミニステレオ音声ケーブル（市販品）を接続します。
P.36「パソコン(PC)と接続する」
B-CAS カード挿入口
付属の B-CAS カードを挿します。
※ 挿すときは B-CAS カードの向きに注意してください。
セットアップガイド
HDMI 入力 1
HDMI ケーブル（市販品）を接続します。
P.34「ビデオやHDDレコーダーと接続する」
P.36「パソコン(PC)と接続する」
壁掛け金具取り付けネジ穴
壁掛け金具（市販品）を取り付けます。
セットアップガイド
電源ケーブル挿し込み口
電源ケーブルを接続します。
セットアップガイド
結束バンド
ケーブル類を束ねます。
セットアップガイド
音声出力（光デジタル）
光デジタル音声ケーブル（市販品）を接続します。スピーカーに音声を出力することができます。
P.38 ヘッドホンや外部スピーカーと接続する
音声
B-CAS
RGB
PC入力
HDMI
HDMI入力1
>PC<

ビデオ入力（映像 / 音声）
黄・白・赤の AV ケーブル（市販品）を接続します。
セットアップガイド
P.34「ビデオやHDDレコーダーと接続する」
USB 入力
USB 機器を接続します。本機で写真を見るときに使います。
P.18「写真を見る」
HDMI 入力 2
HDMI ケーブル（ 市販品 ） を接続します。
P.34「ビデオやHDDレコーダーと接続する」
P.36「パソコン(PC)と接続する」
アンテナ入力（地上デジタル / アナログ）
地上デジタル放送とアナログ放送のアンテナ線（市販品）を接続します。
※ 地上デジタルとアナログの端子が分かれている場合は、混合器を使用してアンテナ線を 1 本にまとめてください。
セットアップガイド

リモコンの機能

入力切換
入力を切り換えます。
入力先一覧が画面に表示されます。
P.11「入力を切り換える」
アナログ
アナログ放送に切り換えます。
デジタル
地上デジタル放送に切り換えます。
字幕
番組に字幕が含まれている場合、字幕を切り換えます。
P.20「字幕切換」
音声切換
番組に複数の音声が含まれている場合、音声を切り換えます。
P.20「映像切換」
チャンネル
チャンネルを昇順 / 降順で切り換えます。
音量
音量を調節します。
写真
本機につないだ USB 機器の写真を見ます。
P.18「写真を見る」
d データ
データ放送を表示します。
P.17「データ放送を見る、使う」
オフタイマー
オフタイマーを設定します。押すたびにオフ /30 分 /60 分 /90 分 /120 分 /180 分に切り換わります。
青
赤
緑
黄
番組表を見るときやデータ放送などの操作に使用します。
P.14「番組表を見る、使う」
P.17「データ放送を見る、使う」
入力切換
電源
地上
アナログ
デジタル
字幕
音声切換
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10/0
11
12
チャンネル
写真
d データ
オフタイマー
音量
画面表示
省電力
消音
裏番組表
静止
番組表
決定
戻る
メニュー
青
赤
緑
黄
PRODIA
テレビ
PIX-RM031-PZZ

電源 本機の電源を入 / 切します。

1〜12 数字に割り当てられたチャンネルに切り換えます。

P.27「リモコンボタンにチャンネルを割り当てる」

画面表示 画面情報を表示します。もう一度押すと表示が消えます。

P.10「画面表示を確認する」

省電力 省電力モードをオン / オフします。 画面が少し暗くなりますが、消費電力が抑えられます。

消音 消音します。もう一度押すと解除されます。

裏番組表 裏番組表を表示します。

※ アナログ放送では使用できません。

P.16「裏番組表を見る、使う」

静止 視聴中の映像を静止します。もう一度押すと解除されます。

※ 静止中でも番組は進行しています。

番組表 番組表を表示します。

※ アナログ放送では使用できません。

P.14「番組表を見る、使う」

メニュー画面や番組表などで、選択項目の移動と決定に使用します。

戻る メニュー画面や番組表などで、一つ前の画面に戻ります。

メニュー メニュー画面を表示します。もう一度押すと消えます。

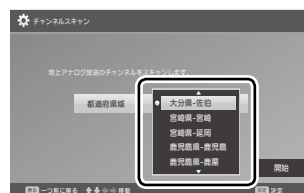
P.20「メニュー画面で設定できる項目を確認する」

方向ボタンの使い方

現在選択している項目がオレンジ色になります。

▲▼ で上下に移動します。

◀▶ で左右に移動します。

決定 で選択項目を実行します。

選択する項目が複数ある場合、左の図のようにプルダウンメニューが表示されます。

▲▼ で上下に移動します。

決定 で選択項目を決定します。

決定 を押すと、選択した項目が反映された画面に戻ります。

変更したくない場合は、 戻る ボタンを押してください。

画面表示を確認する

現在視聴中の番組や放送局などの情報を確認できます。
表示するには、 画面表示 を押してください。 表示してしばらくたつと簡易表示に切り換わります。

放送局ロゴ
放送局のロゴマークです。

放送局の情報
視聴しているチャンネルの放送局名です。

現在の日時
現在の日時です。

音声情報
現在の音声です。

1 011-1 NMK教育1・大阪… 4/18(水) PM 8:20
モノラル
情熱紀行 ヨーロッパ編
PM 8:00 〜 PM 8:54 16:9 HD

お知らせアイコン
放送局または本機からのお知らせがある場合に表示されます。
※ お知らせ画面で未読のお知らせを確認すると消えます。
P.30「本機や放送局からのお知らせを確認する」

チャンネル番号
番組のチャンネル番号です。

リモコン番号
割り当てられたリモコンの番号です。

画質、画面サイズ
番組の音声や画質などの情報です。

番組タイトル
番組のタイトルです。

番組の放送時間
番組が放送されている時間です。

画面表示を消す

番組情報が表示されている状態で 画面表示 を押す

➡ 画面表示が消えます。

入力を切り換える

入力を切り換えます。放送波を切り換えたり、本機に接続されている機器からの映像に切り換えることができます。

入力先を選択して切り換える

1. 入力切換 を押す

➡ 画面右側に入力先の一覧が表示されます。

2. ▲▼ または 入力切換 で切り換えたい入力先を選ぶ

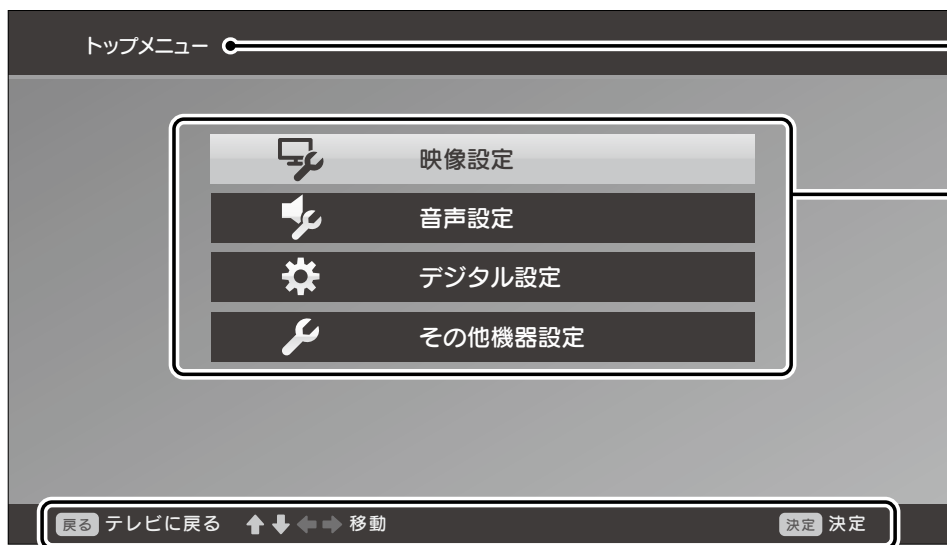
3. 決定 を押す

➡ 選択した入力先に切り換わります。

※ 決定 を押さない場合でも、しばらくすると自動で切り換わります。

地上デジタル、アナログはリモコンから直接切り換えることもできます。「リモコンの機能」(P.8)を参照してください。

メニュー画面に表示される内容

本機では、メニュー画面でいろいろな設定を行います。ここでは、メニュー画面に表示される基本的な項目について説明します。

操作ガイド

現在の画面で使用できるリモコンのボタンを案内しています。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12
写真 dデータ オフタイマー チャンネル 音量
画面表示 省電力 消音
裏番組表 静止 番組表
決定
戻る メニュー
青 赤 緑 黄

数字を入力する

項目を選択する

決定 選択した項目を実行する

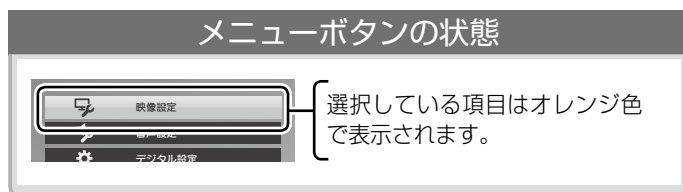
戻る ひとつ前の画面、またはテレビの視聴に戻る

メニュー画面の操作方法

本機では、メニュー画面でいろいろな設定を行います。ここでは基本的な使い方について説明します。

メニュー画面を表示する

メニュー を押す

➡ もう一度押すと視聴画面に戻ります。

項目を選択する

で移動して、項目を選ぶ

📖 画面下部に表示される操作ガイドを参考にしてください。

項目を決定する

決定 を押す

➡ 次の画面、またはプルダウンメニューが表示されます。

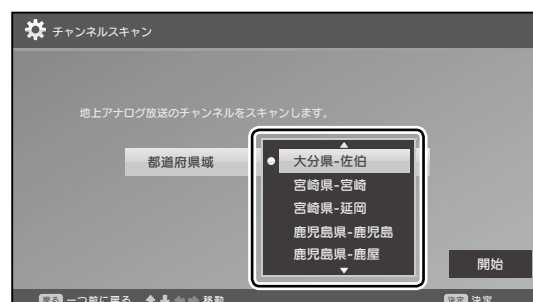
選択する項目が複数ある場合

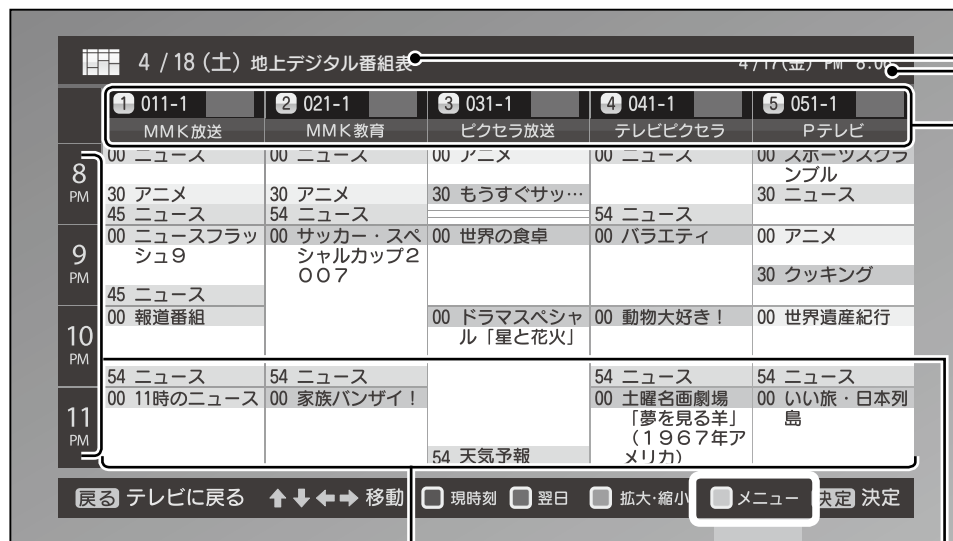
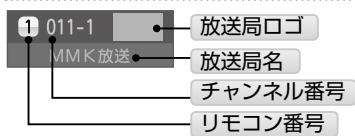
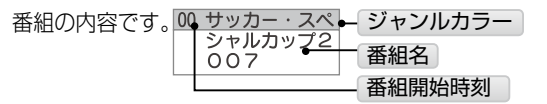
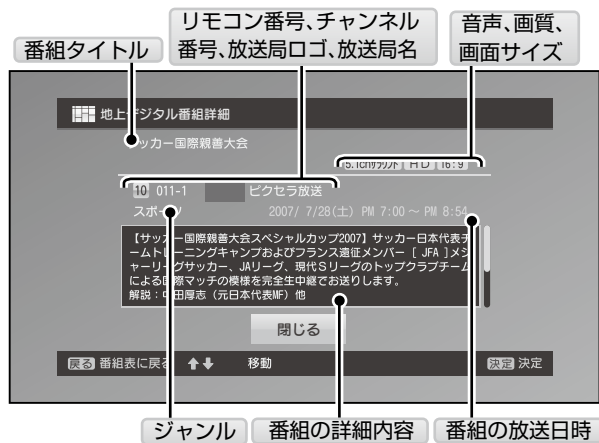
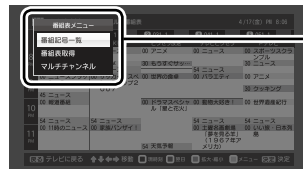
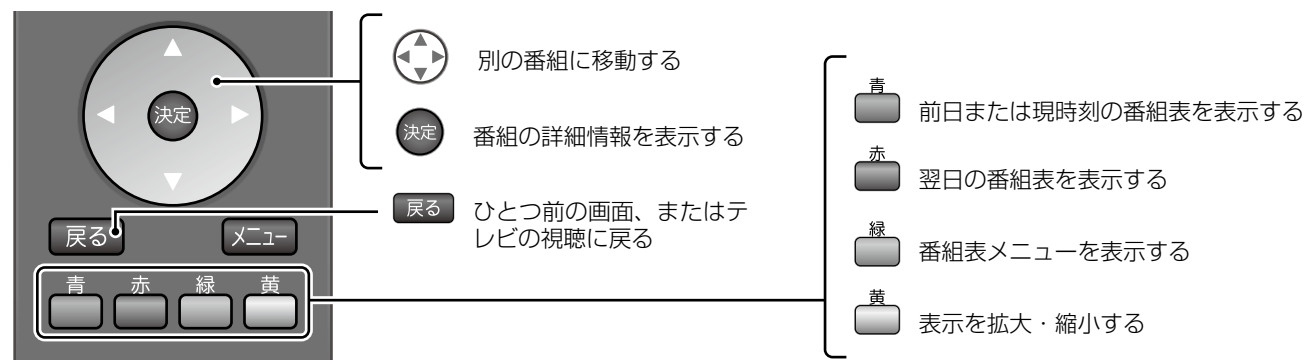
選択する項目が複数ある場合、下の図のようにプルダウンメニューが表示されます。

1. で選択したい項目を選ぶ

2. 決定 を押す

➡ 選択した項目が反映された画面に戻ります。

※ 変更しない場合は、戻る ボタンを押してください。

番組表を見る、使う

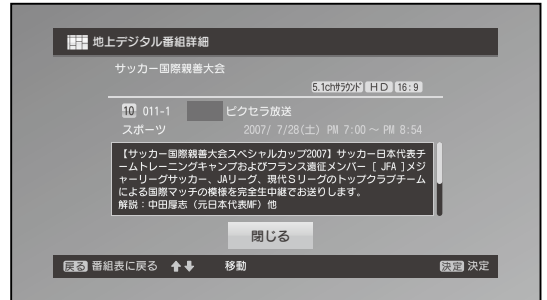
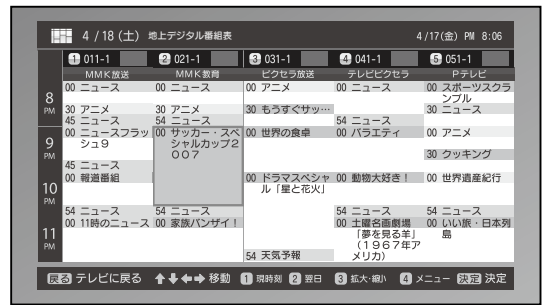
現在から７日先までの番組表を見ることができます。
表示するには、 番組表 を押してください。

番組記号一覧	番組表で使われている記号の説明を表示します。
番組表取得	最新の番組表を取得します。
代表チャンネル / マルチチャンネル	デジタル放送では、1チャンネル分の周波数で最大３番組までを同時に放送することができます。 1チャンネル分の番組欄の表示を、最大３番組（マルチチャンネル）または、代表の１番組（代表チャンネル）に切り換えます。

番組の詳細を確認する

1. （◀▲▼▶）で詳細を確認したい番組を選ぶ

※ 短時間の番組の場合はふきだしが表示されます。

2. （決定）を押す

➡ 番組情報の詳細画面に切り換わります。

➡ （戻る）または（決定）を押すと番組表に戻ります。

番組表を取得する

1. 番組表を表示した状態で、（黄）を押す

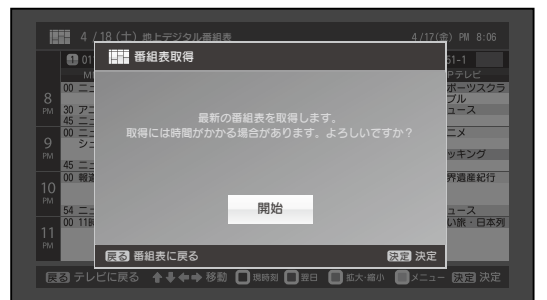
➡ 番組表メニューが画面左上に表示されます。

2. （▼）を押し、[番組表取得]を選ぶ

3. （決定）を押す

➡ 番組表取得画面が表示されます。

4. （決定）を押す

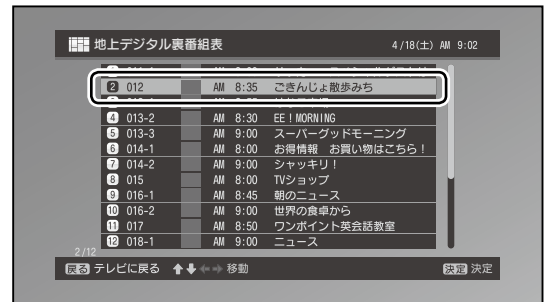
➡ 番組表情報の取得が開始されます。

裏番組表を見る、使う

現在放送されている裏番組の一覧を確認できます。
表示するには、 裏番組表 を押してください。

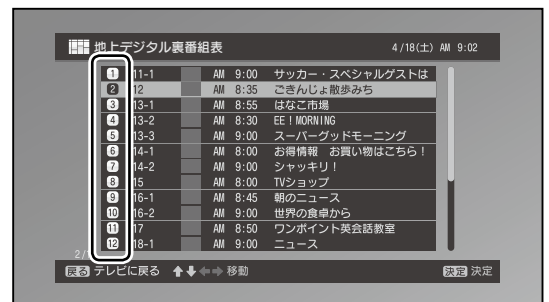
一覧から見たい番組を選んで切り換える

1. を押し、見たい番組を選ぶ
2. 決定 を押す

➡ 選択した番組に切り換わります。

※ 戻る を押すとそれまで見ていた番組に戻ります。

リモコンの数字ボタンで切り換える

1 ～ 12 で見たい番組のリモコン番号を押す

➡ 選択した番組に切り換わります。

データ放送を見る、使う

データ放送では、天気予報などの生活に役立つ情報や、放送中の番組に関連した情報などが提供されています。
※ データ放送はデジタル放送のみの機能です。

データ放送を表示する

1. [dデータ] を押す

➡ データ放送の画面が表示されます。

2. [方向キー] や [青] [赤] [緑] [黄] などで操作する

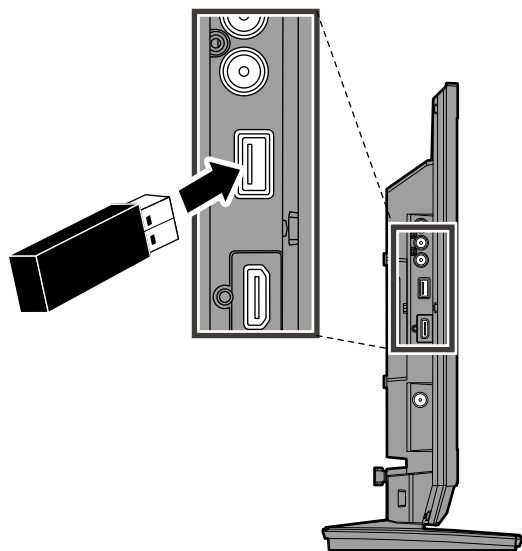
➡ データ放送ごとに操作方法が違いますので、画面の案内表示を参考にしてください。

データ放送を終了する

データ放送が表示された状態で [dデータ] を押す

➡ データ放送が終了されます。

写真を見る

USB フラッシュメモリなどに保存した写真をスライドショーで見ることができます。
本体（P.7）の USB 入力に USB 機器を接続し、 写真 を押してください。

再生できる画像ファイル	
解像度(ピクセル)	最大 5760 × 3240
	最小 16 × 16
フォーマット	JPEG

対応しているファイルシステム
FAT32

※ 接続する前にかならずデータのバックアップを取ってください。

※ すべてのUSB機器との動作検証は行っておりません。接続する機器によっては正常に動作しない場合があります。

※ 指紋認証などのUSB機器固有の機能には対応していません。

フォルダ / ボリューム
現在開いているフォルダ / ボリュームです。
戻る を押すと上の階層に戻ります。

ファイル名 / フォルダ名と日付
現在選択されているファイル / フォルダの名前と、作成（変更）された日付です。

選択ファイルとファイル数
現在の選択しているファイルと、読み込んだファイルの総数です。

サムネイル一覧
画像やファイルの縮小画像です。
で上下左右に移動します。

現在選択しているサムネイルには周囲にオレンジ色の枠が表示されます。

スライドショーの設定

青 を押すとスライドショーの設定メニュー画面に切り換わります。
サムネイル一覧の表示順と、スライドショーの再生速度が設定できます。

で項目を選びます。
決定 で決定してください。
P.9「方向ボタンの使い方」

スライドショーを開始する

1. 本体の左側面のUSB入力端子に、USB機器を接続する

2. 写真 を押す

➡ 読み込みが終わるとサムネイル一覧画面が表示されます。

3. ◎ で見たい写真や画像を選ぶ

➡ 選択しているフォルダや画像には、オレンジの枠が表示されます。

サムネイル一覧の表示を変更するには「スライドショーの設定」(P.18)を参照してください。

4. 決定 を押す

➡ 選択した画像が画面に合わせて表示されます。フォルダを選択した場合は、そのフォルダのサムネイル一覧を表示します。

※ 元ファイルのアスペクト比のまま表示します。画質の調整、画面サイズの変更はできません。

※ しばらくたつと、画面上下のガイドが消えます。戻る を押すともう一度ガイドが表示されます。

5. もう一度 決定 を押す

➡ 操作ガイドが消え、スライドショーが開始されます。

スライドショーの速度を変更するには「スライドショーの設定」(P.18)を参照してください。

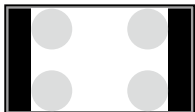
スライドショーを停止する

1. 操作ガイドが表示された状態で 決定 を押す

➡ スライドショーが一時停止します。

※ 操作ガイドが消えている場合は、戻る を押してください。

2. 戻る を押す

➡ サムネイル一覧画面に戻ります。

メニュー画面で設定できる項目を確認する

デジタルテレビ

項目			内容	参照
映像設定				
画質設定			画面の色や明るさなどを調整します。	P.22
音声設定				
音質設定			音声の大きさやバランスなどを調整します。	P.22
優先出力先	テレビスピーカー		本体のスピーカーから音声を出力します。	P.38
	外部スピーカー		本体のスピーカーからの音声をオフにして、光デジタルケーブルで接続した外部スピーカーから音声を出力します。	
デジタル設定				
受信設定	地域設定		受信する地域の郵便番号を設定します。	P.26
	チャンネル設定	チャンネルスキャン	チャンネルを再スキャンします。 ※ それまでに取得したチャンネルの情報と番組表が消去されます。	P.26
		リモコンボタン割り当て	チャンネルをリモコンの番号ボタンに割り当てます。	P.27
	アンテナ設定		受信レベルを表示します。	P.28
	簡易テスト		B-CAS カードが正常に動作しているかどうかをテストします。	P.29
お知らせ	本機からのお知らせ		本製品のソフトウェアの更新に関してのお知らせを確認します。 ※ ソフトウェアの更新は自動で行われます。	P.30
	放送局からのお知らせ		放送局からのお知らせを確認します。	
機器設定	機器情報		本製品のソフトウェアのバージョン情報と、B-CAS カードの情報を確認します。	
	デジタル放送設定	字幕切換	字幕表示の設定を切り換えます。	
		映像切換	複数の映像が含まれる番組で映像を切り換えます。	
		文字スーパー	文字スーパーの設定を切り換えます。 ※ 文字スーパーとは、ニュース速報や気象警報など、番組とは関係なく表示される情報のことです。	
		緊急放送自動切換	視聴中に緊急の放送を受信した場合、自動的に切り換えるかどうかを設定します。 ※ 緊急の放送とは、地震など大規模災害が発生したときや、津波警報が発令されたときなどに放送される災害報道（緊急警報放送）のことです。	
その他機器設定				
省電力			省電力モードをオン / オフします。 ※ [オン]に設定すると、消費電力を減らすことができますが、画面の明るさが若干低下します。	P.9
HDMI1音声入力設定	AV 機器モード		HDMI 入力の場合、音声を HDMI ケーブルから入力します。	P.36
	PC モード		HDMI 入力の場合、音声をパソコンのミニステレオ音声ケーブルから入力します。	
設定初期化			すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。	P.33

画面モードの種類

【4：3】

映像を、画面の縦横比 4：3 の画像サイズにして表示します。左右に黒い帯が表示されます。

【16：9】

映像を、画面の縦横比 16：9 の画像サイズにして表示します。

【ノーマル】

映像を、画面の縦横比を保ったまま、引き伸ばして表示します。

アナログテレビ

項目		説明	参照
映像設定			
画質設定		画面の色や明るさなどを調整します。	P.22
音声設定			
音質設定		音声の大きさやバランスなどを調整します。	P.22
優先出力先	テレビスピーカー	本体のスピーカーから音声を出力します。	P.38
	外部スピーカー	本体のスピーカーからの音声をオフにして、光デジタルケーブルで接続した外部スピーカーから音声を出力します。	
アナログ設定			
チャンネルスキャン		チャンネルを再スキャンします。 ※ これまでに取得したチャンネルの情報が消去されます。	P.31
リモコンボタン割り当て		リモコンの番号ボタンにチャンネルを割り当てます。	P.27
その他機器設定			
画面モード		画面サイズを [4：3] または [16：9] に切り換えます。	P.32
省電力		省電力モードをオン / オフします。 ※ [オン]に設定すると、消費電力を減らすことができますが、画面の明るさが若干低下します。	P.9
HDMI1音声入力設定	AV 機器モード	HDMI 入力の場合、音声を HDMI ケーブルから入力します。	P.36
	PC モード	HDMI 入力の場合、音声をパソコンのミニステレオ音声ケーブルから入力します。	
設定初期化		すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。	P.33

ビデオ、PC、HDMI

項目		説明	参照
映像設定			
画質設定		画面の色や明るさなどを調整します。	P.22
PC画面調整		PC 画面のサイズを調整します。 ※ PC入力に切り換えたときのみ表示されます。	P.24
音声設定			
音質設定		音声の大きさやバランスなどを調整します。	P.22
優先出力先	テレビスピーカー	本体のスピーカーから音声を出力します。	P.38
	外部スピーカー	本体のスピーカーからの音声をオフにして、光デジタルケーブルで接続した外部スピーカーから音声を出力します。	
その他機器設定			
画面モード		画面サイズを [4：3] / [16：9] / [ノーマル] に切り換えます。 ※ ビデオ入力では[ノーマル]を使用できません。	P.32
省電力		省電力モードをオン / オフします。 ※ [オン]に設定すると、消費電力を減らすことができますが、画面の明るさが若干低下します。	P.9
HDMI1音声入力設定	AV 機器モード	HDMI 入力の場合、音声を HDMI ケーブルから入力します。	P.36
	PC モード	HDMI 入力の場合、音声をパソコンのミニステレオ音声ケーブルから入力します。	
設定初期化		すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。	P.33

画質と音質を調整する

選択している入力での画質または音質を設定します。

※ 上図は画質設定の画面です。

対象コンテンツ

画質 / 音質を設定する放送波または入力です。

映像モード / 音声モード

4 つのモードから設定できます。下の表を参照してください。

画質調整 / 音質調整

各項目を調整したい場合は、[映像モード] または [音声モード] を [カスタム] に変更してください。

映像モード

以下の 4 つのモードから設定できます。

モード	説明
ダイナミック	鮮明でコントラストのある画像です。明るい部屋で、メリハリのある画像を楽しみたいときに適しています。
スタンダード	標準的な画像です。通常のテレビ番組の視聴や DVD 再生などに適しています。
映画	長時間の視聴に適した画像です。映画館のスクリーンを見るような感覚で映画を楽しむ時や、電球色などの落ち着いた照明を採用したリビングなどで視聴するときに適しています。
カスタム	お好みで調整できる設定です。

音声モード

以下の 4 つのモードから設定できます。

モード	説明
スタンダード	オリジナルの音声に忠実な音声です。
ミュージック	高音・低音を強調した音声です。音楽を楽しむときに適しています。
シアター	迫力と音の広がり効果のある設定です。映画を楽しむときに適しています。
カスタム	お好みで調整できる設定です。

調整ウィンドウの使い方

で項目を選びます。

決定 で決定してください。

で調整します。

決定 で決定してください。

画質や音質をお好みで調整する（カスタム設定）

■ 画質を調整する場合は、メニュー を押し、[映像設定] → [画質設定] の順に選択してください。

■ 音質を調整する場合は、メニュー を押し、[音声設定] → [音質設定] の順に選択してください。

※ 下記の手順は、画質設定の例です。

1. メニュー で[映像設定]-[画質設定]を選ぶ

➡ 画質設定画面が表示されます。

2. (上下キー) で [映像モード]を選び、決定 を押す

➡ 画面が切り換わり、画面下部に選択ウィンドウが表示されます。

3. (上下キー) で [カスタム] を選び、決定 を押す

➡ 画質設定の画面に切り換わります。画質調整の項目が選択できるようになります。

4. (上下キー) で 調整したい項目を選び、決定 を押す

➡ 画面が切り換わり、画面下部に調整ウィンドウが表示されます。

5. (上下左右キー) で設定を調整する

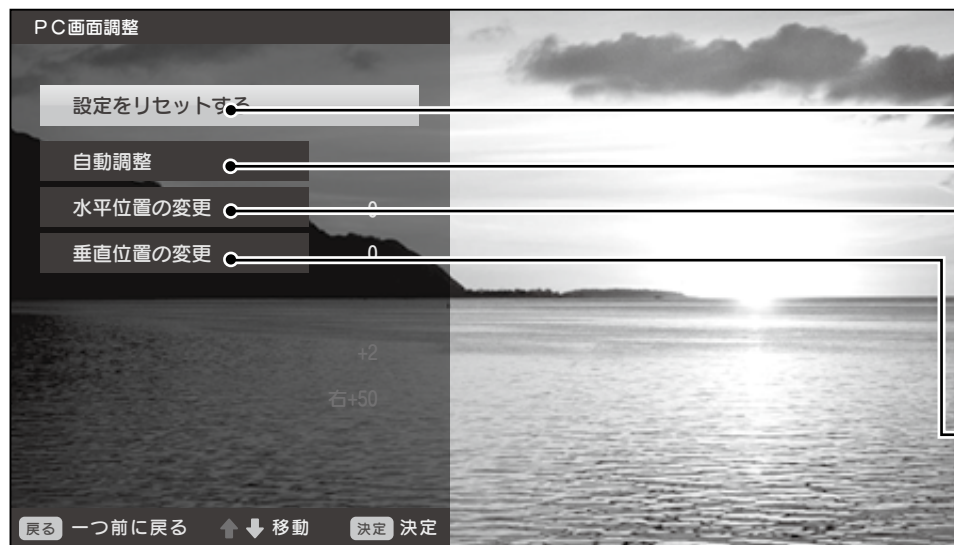
設定項目によって使用するキーが違います。
「調整ウィンドウの使い方」(P.22)を参照してください。

6. 決定 を押す

➡ 設定が変更されます。

※ 他の項目も調整するときは手順4～6を繰り返してください。

PC 画面を調整する

パソコンをつないだときに表示される画面の位置を設定します。

PC の画面位置をお好みで調整する

1. 入力切換 でPC入力に切り換える

➡ PC 入力に切り換わります。

P.11「入力を切り換える」

2. メニュー で [映像設定] - [PC画面調整] を選ぶ

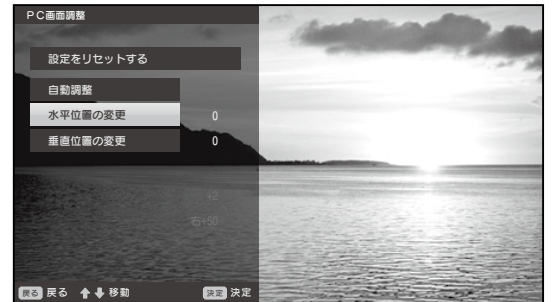
➡ PC 画面調整画面が表示されます。

3. ▲▼ で[水平位置の変更]または[垂直位置の変更]を選び、決定 を押す

➡ 画面が切り換わり、画面下部に調整ウィンドウが表示されます。

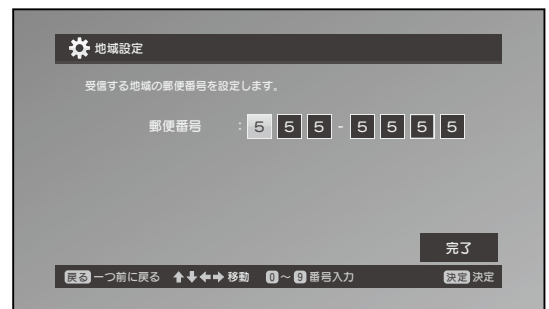
4. ◀▶ で調整する

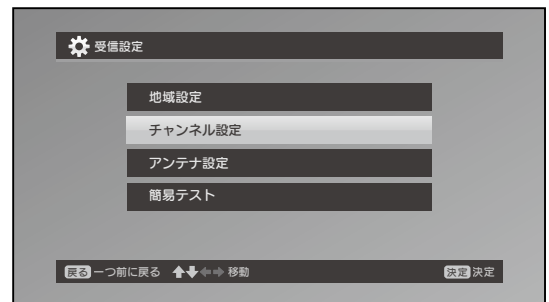
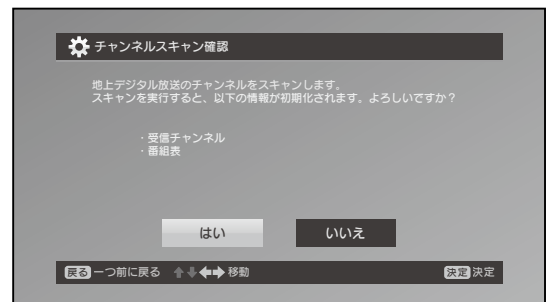
5. 決定 を押す

➡ 設定が変更されます。

デジタル放送のチャンネルをスキャンする

引越などでお住まいの地域が変更になったときや、初回設定のときにスキャンできなかったチャンネルがあったときなどに、チャンネルをもう一度スキャンします。

地域を設定し、チャンネルをスキャンする

1. 地上デジタル放送を視聴している状態で、メニューを押す
   ➡ トップメニューが表示されます。

2. で[デジタル設定]を選び、決定 を押す
3. で[受信設定]を選び、決定 を押す
4. で[地域設定]を選び、決定 を押す
5. 1 ~ 10 でお住まいの地域の郵便番号を入力する
   ※ 間違えた場合は で戻って、入力しなおしてください。

6. で[完了]を選び、決定 を押す
   ➡ [受信設定]画面に切り換わります。

7. で[チャンネル設定]を選び、決定 を押す
8. [チャンネルスキャン]を選び、決定 を押す
   ➡ チャンネルスキャンの確認画面が表示されます。
9. [はい]を選び、決定 を押す
   ➡ チャンネルスキャンが開始されます。
   ※ スキャンには数分かかる場合があります。

リモコンボタンにチャンネルを割り当てる

リモコンボタンにお好きなチャンネルを割り当てて使うことができます。

※ デジタル･アナログ放送共通の操作方法です。
※ 下記の手順は、地上デジタル放送の例です。アナログ放送の場合は、メニュー を押し、[アナログ設定] → [リモコンボタン割り当て] の順に選択してください。

リモコンボタンにお好きなチャンネルを割り当てる

1. 地上デジタル放送を視聴している状態で、メニュー を押す
   ➡ トップメニューが表示されます。

2. で[デジタル設定]を選び、決定 を押す

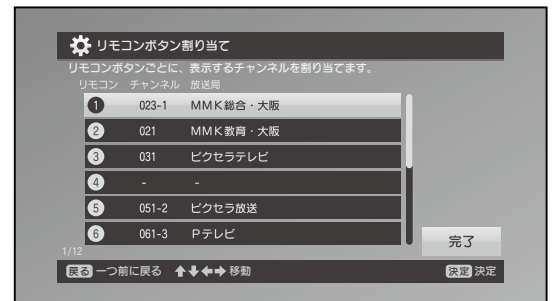
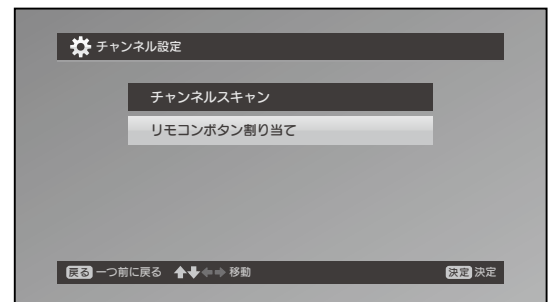
3. で[受信設定]を選び、決定 を押す

4. で[チャンネル設定]を選び、決定 を押す

5. で[リモコンボタン割り当て]を選び、決定 を押す
   ➡ リモコンボタン割り当ての画面が表示されます。

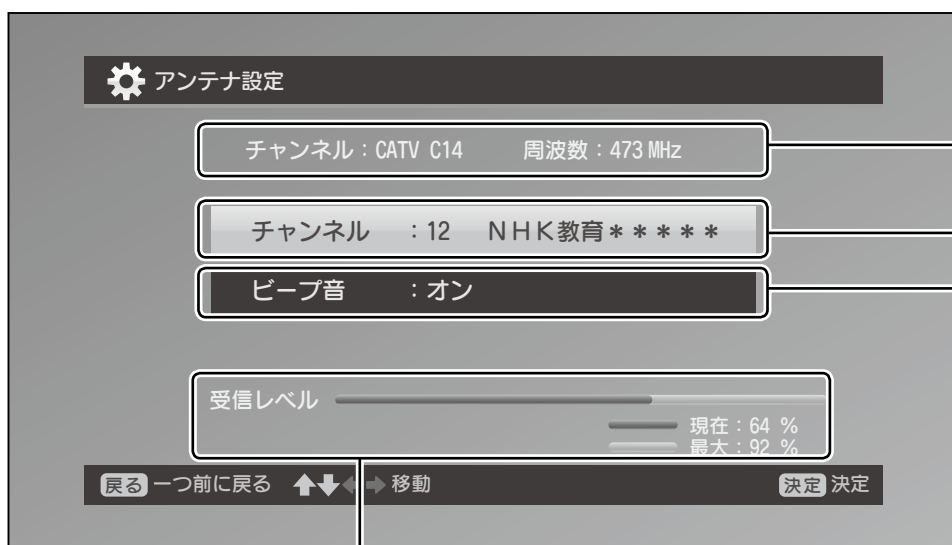
6. 割り当てたいボタンを選び、決定 を押す
   ➡ 選択できるチャンネルが表示されます。

7. でチャンネルを選び、決定 を押す
   ※ 他にも割り当てたいボタンがある場合は、手順6～7を繰り返してください。

8. で[完了]を選び、決定 を押す
   ➡ 設定が反映されます。

アンテナの受信レベルを確認する

映像にノイズが入ったり映らなかったりしたときに、アンテナの受信状況を確認することができます。

アンテナ設定画面を表示する

1. デジタル放送を視聴している状態で、メニューを押す
   ➡ トップメニューが表示されます。
2. ▲▼で [デジタル設定] を選び、決定を押す
3. ▲▼で [受信設定] を選び、決定を押す
4. ▲▼で [アンテナ設定] を選び、決定を押す
   ➡ アンテナ設定画面が表示されます。

視聴中のチャンネル
現在視聴しているチャンネルです。

レベル表示中のチャンネル
受信レベルを表示しているチャンネル番号と放送局名です。
決定を押すと変更できるチャンネルが表示されます。

ビープ音
オンにすると、音が鳴ります。
受信レベルが低いほど低い音、高いほど高い音が鳴ります。
屋外アンテナなどの調整で、画面を確認できないときに使用します。

受信レベル
上記の [レベル表示中のチャンネル] で選択したチャンネルの受信レベルを表示しています。

B-CAS カードの動作をテストする

B-CASカードが正常に動作しているか確認します。

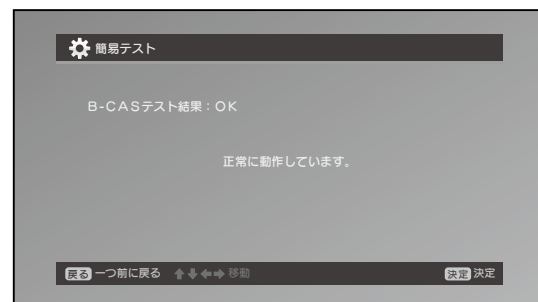
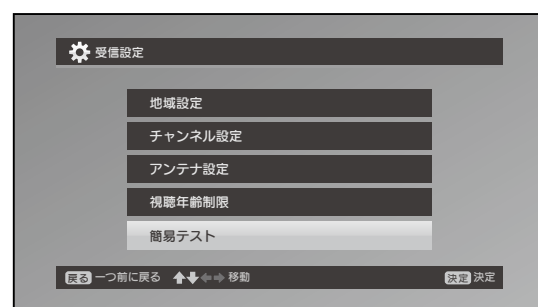
簡易テスト画面を表示する

1. デジタル放送を視聴している状態で、メニュー を押す
   ➡ トップメニューが表示されます。

2. ○ で[デジタル設定]を選び、決定 を押す

3. ○ で [受信設定] を選び、決定 を押す

4. ○ で [簡易テスト]を選び、決定 を押す
   ➡ 簡易テスト画面が表示されます。
   ※ テスト結果がNGの場合は、エラーメッセージにしたがって、B-CASカードをもう一度確認してください。

P.40「エラーメッセージの内容を確認する」

本機や放送局からのお知らせを確認する

各種のお知らせを確認する画面です。

お知らせ画面を表示する

1. デジタル放送を視聴している状態で、メニューを押す

➡ トップメニューが表示されます。

2. ▲▼で [デジタル設定] を選び、決定を押す

3. ▲▼で [お知らせ] を選び、決定を押す

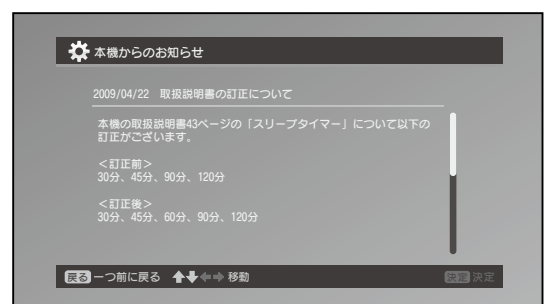
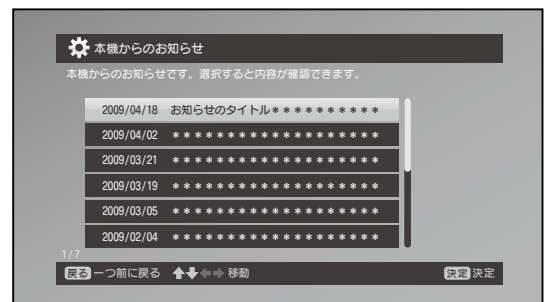
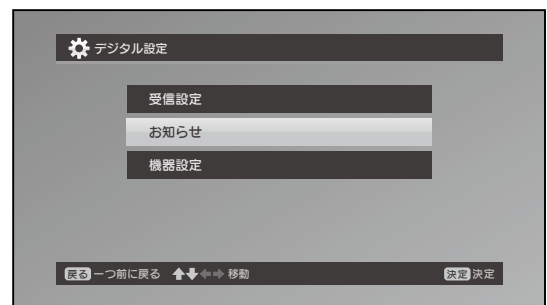
4. ▲▼で 確認したい項目を選び、決定を押す

本機からのお知らせ	本製品のソフトウェアの更新に関してのお知らせを確認します。 ※ ソフトウェアの更新は自動で行われます。
放送局からのお知らせ	放送局からのお知らせを確認します。

➡ お知らせがある場合は、一覧が表示されます。

5. ▲▼で 確認したいお知らせを選び、決定を押す

➡ お知らせの詳細内容画面が表示されます。

※ お知らせの最大保存件数は各20件です。古いものから順に削除されます。

アナログ放送のチャンネルをスキャンする

引越などで住んでいる地域が変更になったときや、はじめての設定のときにスキャンできなかったチャンネルがあったときなどは、チャンネルをもう一度スキャンします。

地域を設定し、チャンネルをスキャンする

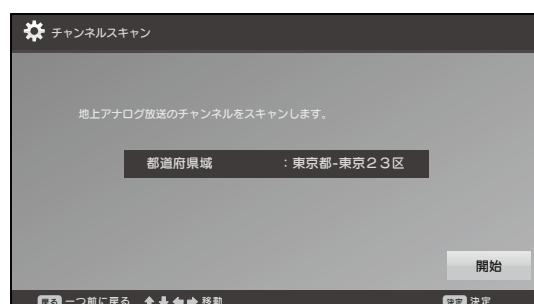
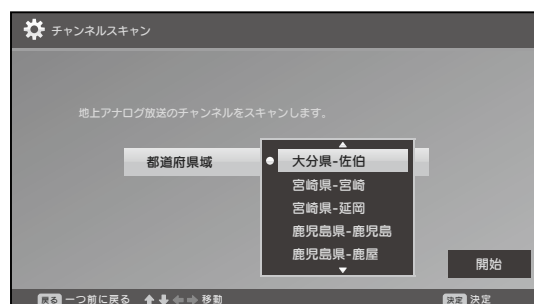
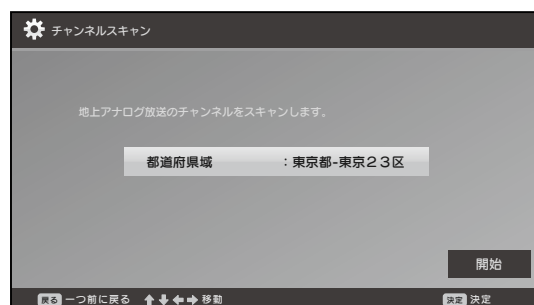
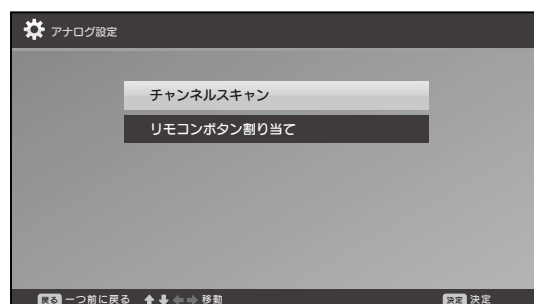
1. アナログ放送を視聴している状態で、[メニュー]を押す
   ➡ トップメニューが表示されます。

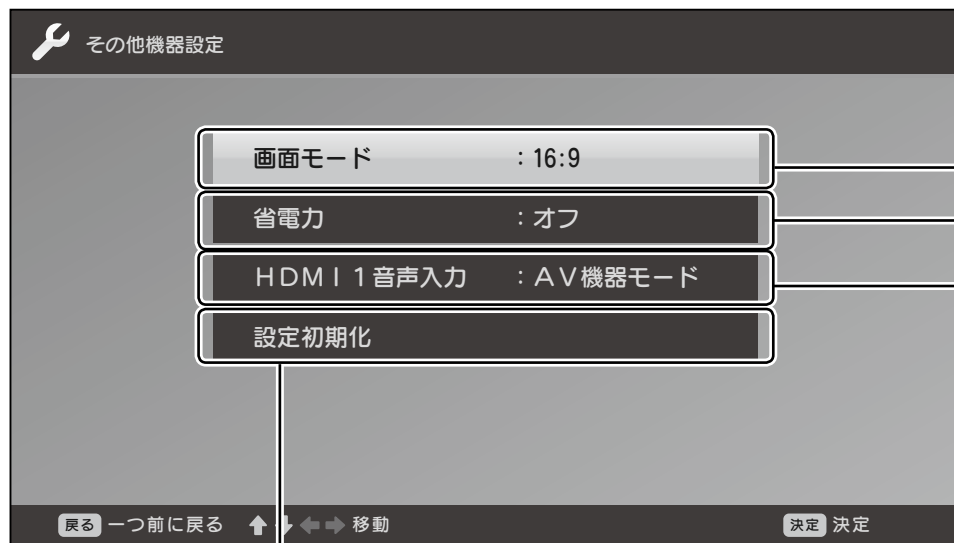
2. [上下]で[アナログ設定]を選び、[決定]を押す

3. [上下]で[チャンネルスキャン]を選び、[決定]を押す
   ➡ チャンネルスキャンの画面が表示されます。

4. [都道府県域]を選び、[決定]を押す
   ➡ 選択できる地域の一覧が表示されます。

5. [上下]でお住まいの地域に一番近いものを選び、[決定]を押す

6. [右]で[開始]を選び、[決定]を押す
   ➡ 放送局のスキャンが開始されます。
   スキャンが完了するとアナログ設定画面に戻ります。

画面モード、省電力などその他の設定

各種設定画面です。

画面モード

画面サイズを[4：3] / [16：9] / [ノーマル]に切り換えます。

※ デジタルテレビは対応していません。

省電力

省電力モードをオン / オフします。[オン]に設定すると、消費電力を減らすことができますが、画面の明るさが若干低下します。

HDMI 1音声入力

HDMI 入力 1 で音声を HDMI ケーブルから入力する（AV 機器モード）か、パソコンのミニステレオ音声ケーブルから入力する（PC モード）か選択できます。

設定初期化

すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。

P.33「設定を初期化する」

設定を初期化する

すべての設定を工場出荷時の状態に戻します。
チャンネルスキャンで取得したチャンネルや番組表の情報は破棄されます。

設定初期化を実行する

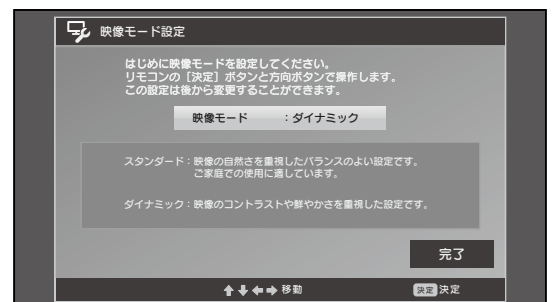
1. [メニュー] を押す
   ➡ トップメニューが表示されます。

2. [上下] で [その他機器設定]を選び、[決定] を押す

3. [上下] で [設定初期化]を選び、[決定] を押す
   ➡ 初期化の確認メッセージの画面が表示されます。

4. [左右] で [はい]を選び、[決定] を押す
   ➡ 初期化が開始されます。
   初期化が完了すると、自動的に電源が切れます。

5. [電源] を押す
   ➡ 映像モード設定の画面が表示されます。
   引き続き初回設定を行います。

   初回設定の詳しい操作については、セットアップガイドを参照してください。

ビデオや HDD レコーダーと接続する

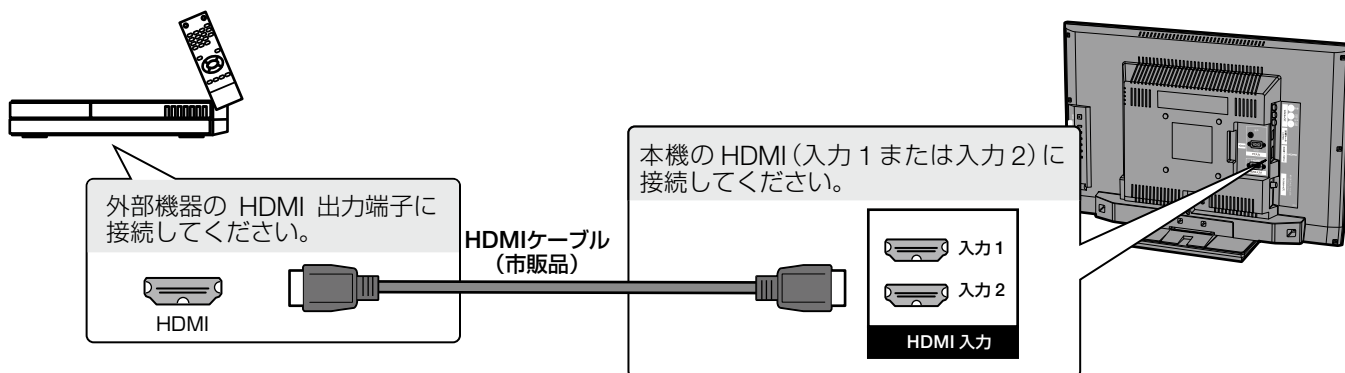
本機に接続できる外部機器

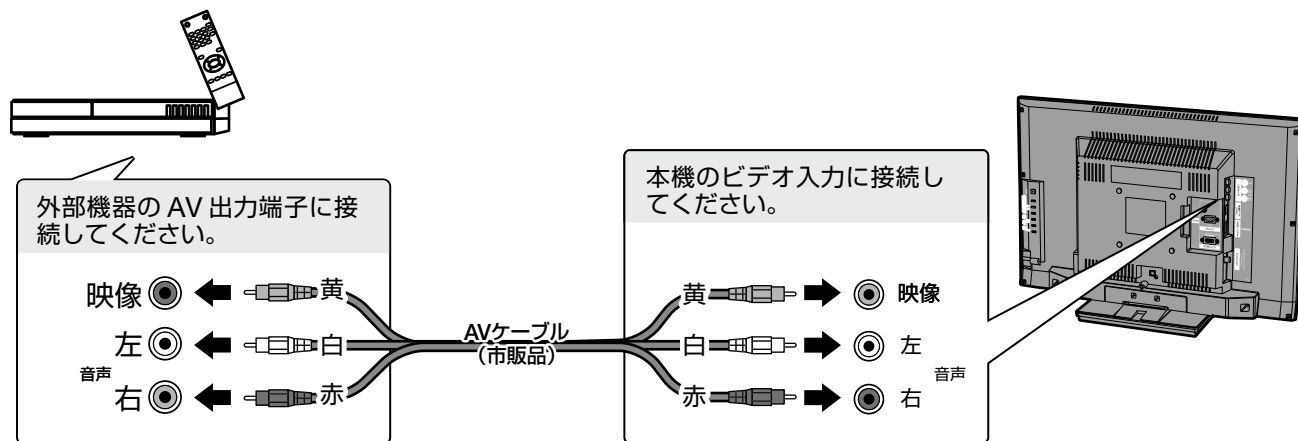
HDD（ハードディスク）レコーダーやビデオ、パソコン、ゲーム機など、さまざまな外部機器とつないで、これらの映像を表示したり、音声を出力して楽しむことができます。

※ コピーガードのかかっている映像は表示できない場合があります。
※ 接続する機器によっては、その機器側で設定が必要な場合があります。
※ AACの音声には対応していません。外部機器を接続する場合はかならず音声の設定をPCMにしてください。

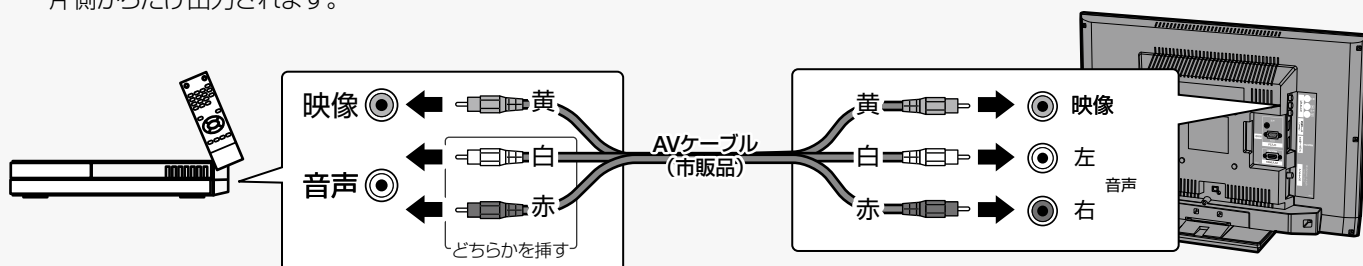
HDMI で接続する

接続する機器に HDMI 出力端子が搭載されていることを確認してください。

📖 HDMI入力1に接続するときは、「HDMI1音声入力設定（P.20）」を「AV機器モード」に変更してください。

AV ケーブルで接続する

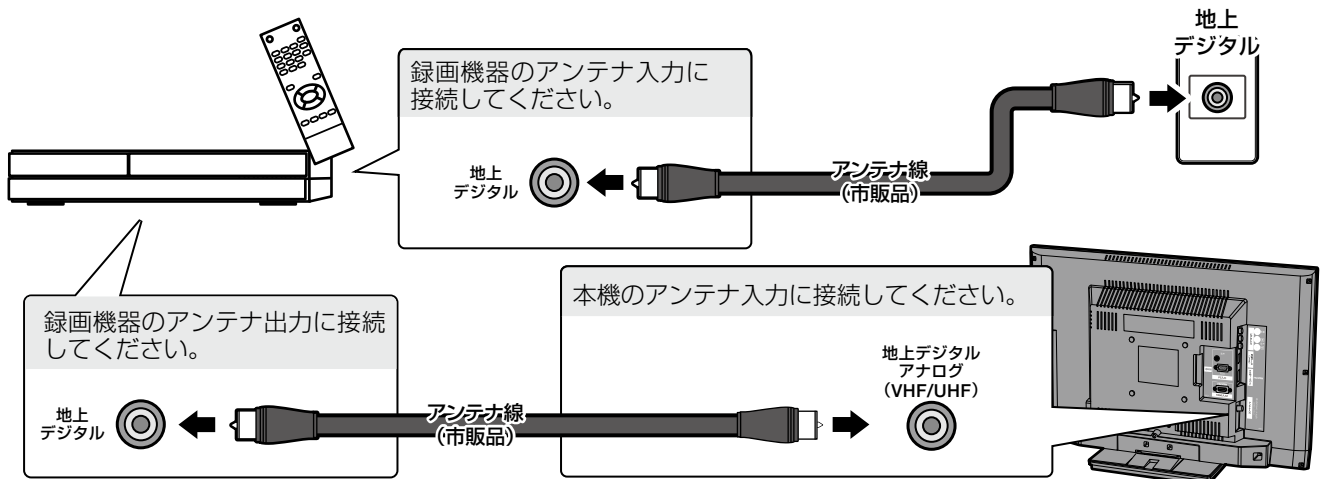
接続する機器に AV 出力端子が搭載されていることを確認してください。

接続する機器に黄・白の端子しかないときは?

黄と白／赤（どちらか一方）のケーブルを接続してください。この場合、音声はスピーカーの片側からだけ出力されます。

映像
音声
黄
白
赤
どちらかを挿す
AVケーブル
（市販品）
黄
白
赤
映像
左
音声
右

デジタルチューナーを搭載している録画機器を接続する

本機と録画機器をアンテナ線で接続してください。

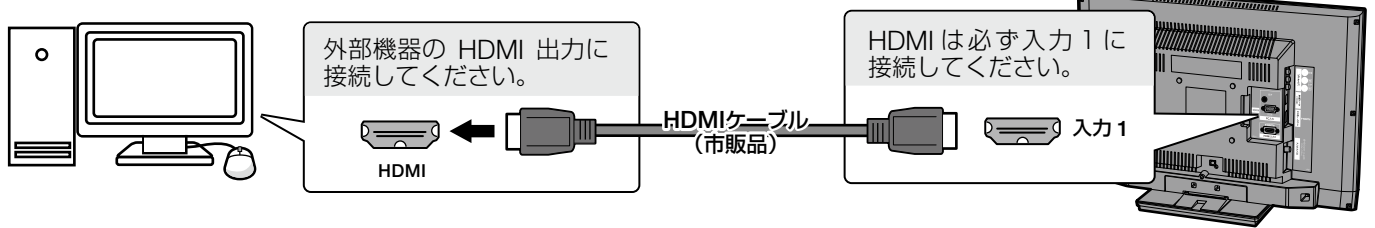
この場合、放送を視聴するには接続している機器を経由させる必要があります。接続している機器の取扱説明書などにしたがって操作してください。

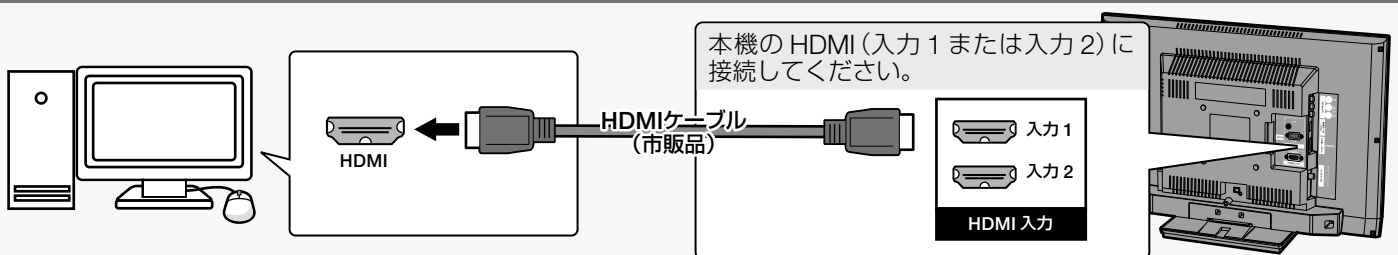
※ ご使用の環境によっては分波器や混合器が必要になります。詳しくは録画機器のメーカーや電器店などにご相談ください。

パソコン(PC)と接続する

HDMIで接続する

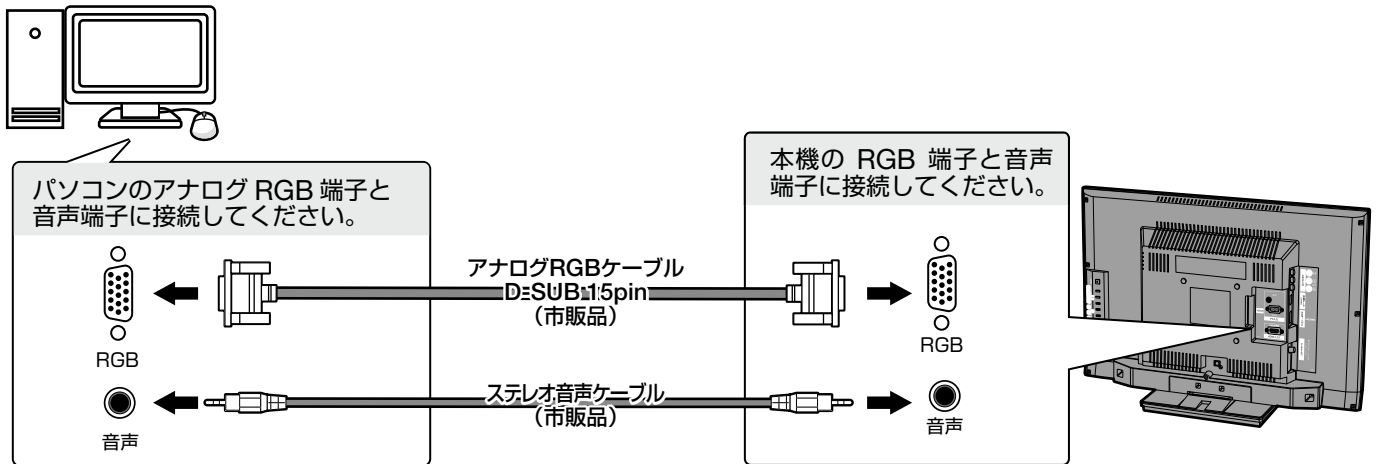
接続する機器にHDMI出力端子が搭載されていることを確認してください。

対応解像度（ピクセル）	
1280×720 p	720×480 p
1920×1080 i	720×480 i

PCからテレビへ映像・音声を入力する

HDMI 1に接続した場合は必ず、「HDMI1音声入力設定（P.20）」を「PCモード」に変更してください。

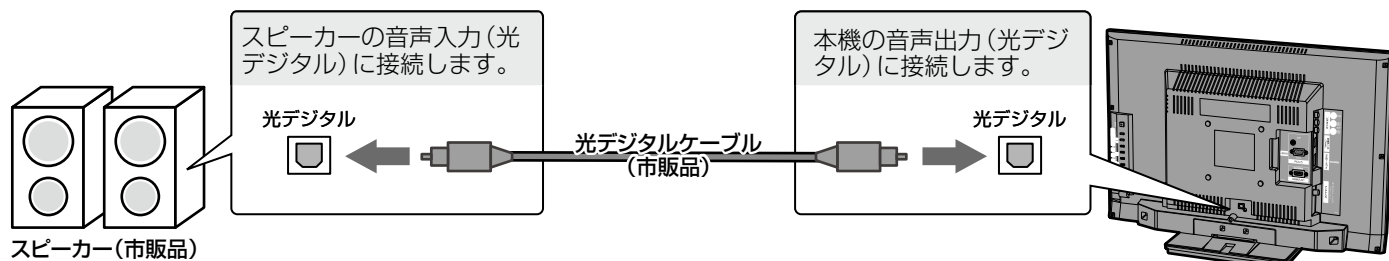
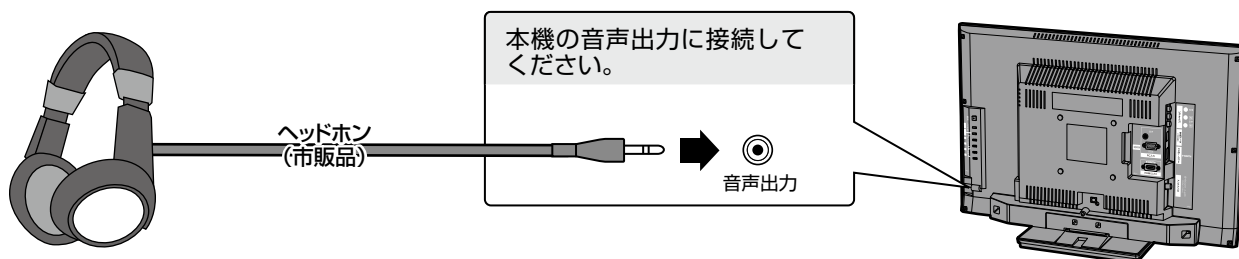
PCからテレビへ映像のみ入力する

アナログ RGB で接続する

接続する機器に RGB 出力端子が搭載されていることを確認してください。

対応解像度（ピクセル）	
1360×768 @ 60Hz	1024×768 @ 60Hz
1280×1024 @ 60Hz	800×600 @ 60Hz
1280×960 @ 60Hz	640×480 @ 60Hz
1280×768 @ 60Hz	

ヘッドホンや外部スピーカーと接続する

外部スピーカーと接続する

デジタル音声ケーブルで接続します。接続が完了してから、メニューの［音声設定］内の［優先出力先］で出力形式を［外部スピーカー］（P.20）に設定してください。

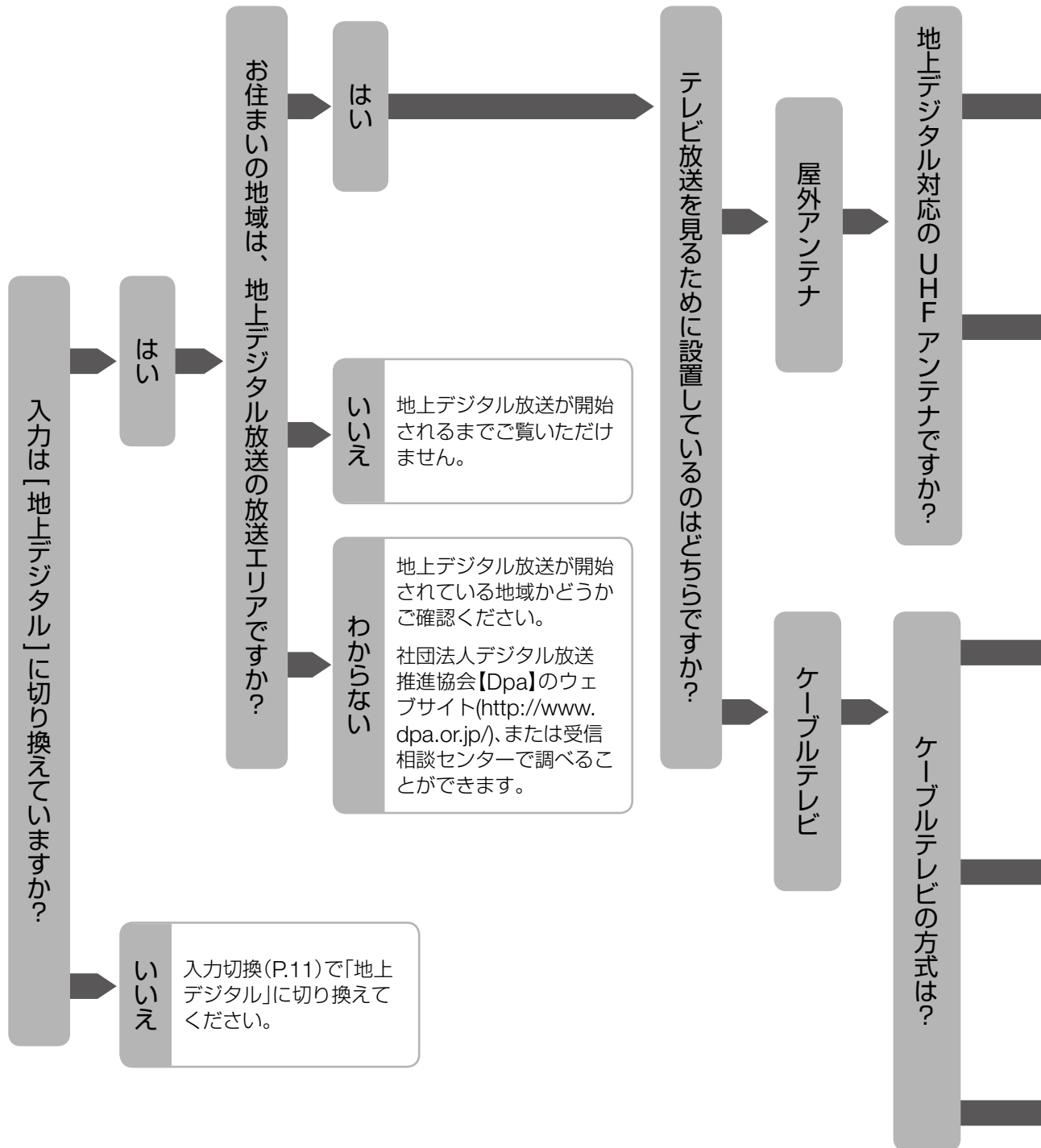
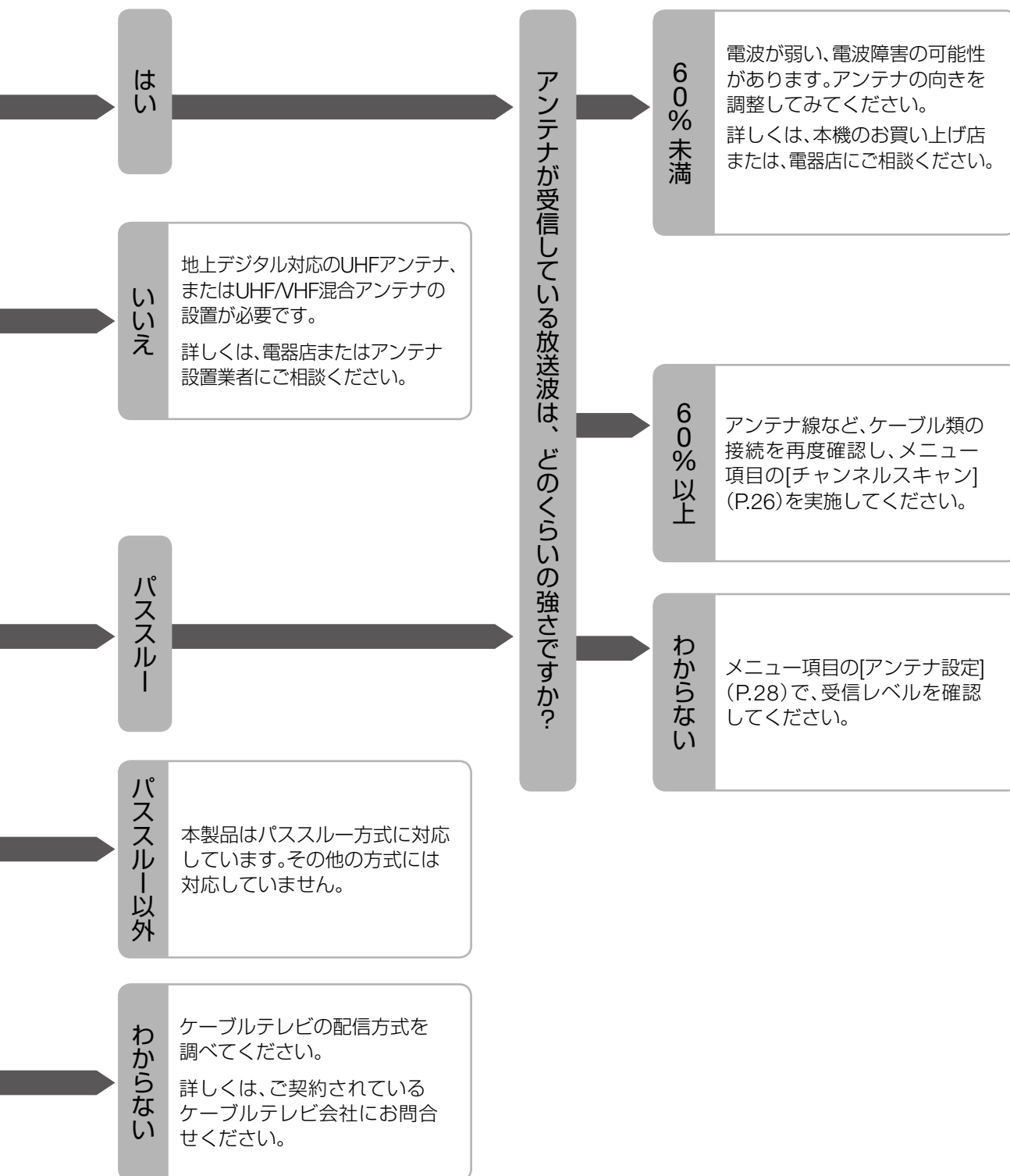
（P.20）

ヘッドホンと接続する

エラーメッセージの内容を確認する

本機で表示されるエラーメッセージです。

メッセージ	表示される主な原因と解決方法
受信できるチャンネルが見つかりませんでした。アンテナ線の接続や受信状況を確認して、再度スキャンを実行してください。	はじめて設定のチャンネルスキャンに失敗したとき ↳ アンテナ線などの接続が間違っている可能性があります。セットアップガイドまたは Q&A（P.44 ～）を確認してください。
データ取得中…	データ放送の情報を取得しているとき ↳ しばらくお待ちください。データ放送の情報を取得し終わると消えます。
B-CAS カードが正しく挿入されていません。 B-CAS カードをご確認ください。	B-CAS カードが挿入されていない ↳ 本体の B-CAS カード挿入口に、カードが挿さっているか確認してください。挿入口にカードが入っている場合は、奥まできちんと挿さっていない可能性があります。 B-CAS カード以外のカードを挿入されたとき ↳ カードの種類をもう一度確認してください。B-CAS カードには地上デジタル用（青）、BS・CS デジタル用（赤）などの種類があります。本機に付属している B-CAS カードを使用してください。 B-CAS カードを入れる向きが前後、表裏逆になっているとき ↳ カードをもう一度挿しなおしてください。 セットアップガイド
B-CAS カードを正しく読み取れません。 カスタマーセンターにお問い合わせください。	B-CAS カードが破損しているとき ↳ B-CAS カードが破損した場合や、B-CAS カードを抜き挿ししてもメッセージが表示される場合は B-CAS カスタマーセンターへ問い合わせてください。
このボタンにはチャンネルが割り当てられていません。	チャンネルが割り当てられていないボタンを押したとき ↳ 別のボタンを押して他のチャンネルに切り換えてください。[リモコンボタンの割り当て]（P.27）で設定を変更できます。 ↳ チャンネルスキャン（デジタル P.26、アナログ P.31）で、もう一度チャンネルをスキャンしなおしてください。
このチャンネルは放送用のチャンネルではないため視聴できません。（E200）	データ放送など通常の放送形態ではないチャンネルを選局したとき ↳ 別のボタンを押して他のチャンネルに切り換えてください。
放送を受信できません。 天候の影響またはアンテナの受信や接続状態に問題がある可能性があります。（E202）	悪天候のとき ↳ 天候が回復するまでお待ちください。 アンテナの設定、調整が正しくできていないとき ↳ アンテナの接続（セットアップガイド）をもう一度確認してください。アンテナ線が切れている可能性もあります。 放送されていないチャンネルを選局したとき ↳ 別のチャンネルに切り換えてください。 電波が弱くて番組の視聴ができないとき ↳ アンテナ設定（P.28）で受信レベルを確認してください。受信レベルが低い場合は、増幅器などを設置する必要があります。
このチャンネルは放送されていません。（E203）	放送を休止しているチャンネルを選局したとき ↳ 別のチャンネルに切り換えてください。
本機ではこのチャンネルを受信できません。（E210）	選んだチャンネルに対して受信機の機能が対応していないとき ↳ 別のチャンネルに切り換えてください。
この番組には切り換えられる字幕がありません。	番組に切り換えられる字幕がないとき ↳ しばらく待つとメッセージが消えます。
この番組には切り換えられる音声がありません。	番組に切り換えられる音声がないとき ↳ しばらく待つとメッセージが消えます。

メッセージ	表示される主な原因と解決方法
この番組には切り換えられる映像がありません。	番組に切り換えられる映像がないとき ↳ しばらく待つとメッセージが消えます。
データを受信できません。（E400）	データ放送を取得できないとき ↳ データ放送を終了する（P.17）か、もう一度取得しなおしてください。
本機ではこのデータを受信できません。（E401）	本機に対応していないデータ放送だったとき ↳ データ放送を終了してください。（P.17）
データの表示に失敗しました。（E402）	データ放送再生中にエラーが起きたとき ↳ データ放送を終了する（P.17）か、もう一度取得しなおしてください。
入力信号がありません。アンテナ線または機器の接続を確認してください。	入力信号がないとき ↳ もう一度接続を確認してください。アンテナ線や入力ケーブルなどが外れている可能性があります。 セットアップガイド
この信号には対応していません。	入力信号が確認できたが、本製品が対応していない信号を受け取ったとき ↳ 入力を切り換えてください。（P.11）
USB 端子の電源容量を超えています。 接続している機器を取り外してください。 ［閉じる］を選択すると電源が切れます	外部電源のない HDD をつないだときなど、USB の電源容量を超えたとき ↳ USB の電源容量を超えているため使用できません。接続している機器を取り外してください。
ファイルが見つかりませんでした。 機器の接続を確認してください。 また、使用するファイルが本機に対応している必要があります。	・USB 機器が取り外されたとき ・USB 機器が対応していなかったとき ・USB 機器のフォーマットが FAT32 ではなかったとき ・USB 機器に読み込めるボリュームが 1 つもないとき ・接続した USB 機器に対応ファイルがなかったとき ↳ 写真を押してスライドショーを終了してください。 P.18「写真を見る」

困ったときは：地上デジタル放送を利用

はい
アンテナが受信している放送波は、どのくらいの強さですか？
60％未満
電波が弱い、電波障害の可能性があります。アンテナの向きを調整してみてください。
詳しくは、本機のお買い上げ店または、電器店にご相談ください。
いいえ
地上デジタル対応のUHFアンテナ、またはUHF/VHF混合アンテナの設置が必要です。
詳しくは、電器店またはアンテナ設置業者にご相談ください。
60％以上
アンテナ線など、ケーブル類の接続を再度確認し、メニュー項目の[チャンネルスキャン]（P.26）を実施してください。
パススルー
わからない
メニュー項目の[アンテナ設定]（P.28）で、受信レベルを確認してください。
パススルー以外
本製品はパススルー方式に対応しています。その他の方式には対応していません。
わからない
ケーブルテレビの配信方式を調べてください。
詳しくは、ご契約されているケーブルテレビ会社にお問合せください。

困ったときは：Q&A

デジタル放送について

Q 地上デジタル放送とは何ですか？

A 地上の無線局を通じて送信されるデジタル放送です。2011 年 7 月 24 日までに従来のアナログ放送が終了し、地上デジタル放送に代わることが予定されています。

Q 地上デジタル放送用のアンテナは必要ですか？

A 現在お使いの UHF アンテナで受信できます。ただし、お住まいの地域でデジタル放送が開始されている必要があります。

Q 地上デジタル放送の受信エリアを知りたい

A 社団法人デジタル放送推進協会 [Dpa] のウェブサイトを確認してください。

Q ケーブルテレビを利用して地上デジタル放送の視聴はできますか？

A 配信方式がパススルー方式であれば視聴できます。詳しくはケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

Q ケーブルテレビ（パススルー方式）の受信で、地上デジタル放送を視聴できない

A 設定やアンテナの変更などが必要になる場合があります。詳しくはケーブルテレビ会社にお問い合せください。

B-CAS カードについて

Q B-CAS カードとは何ですか？

A デジタル放送を見るために必要な IC カードのことです。デジタル放送は著作権保護のため、放送信号が暗号化されており、B-CAS カードはその放送を視聴するために必要になります。紛失や破損・汚損しないよう注意してください。

Q B-CAS カードのエラーが出る

A B-CAS カードが正しく挿入されていない可能性があります。B-CAS カードの種類や、挿入する方向、裏表をセットアップガイドで確認してもう一度挿入しなおしてください。

Q B-CAS カードが破損した

A B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター
http://www.b-cas.co.jp/www/index1.html

[電話] 0570-000-250

[IP 電話] 045-680-2868

[受付時間]10 時～ 18 時（年中無休）

データ放送について

Q d ボタンを押したが、データ放送が表示されない

A データ放送に対応していない番組では表示されません。

A データの読み込みに時間がかかっている場合があります。しばらく待ってから再度操作してください。

地上デジタル放送について困ったとき
以下のホームページを参照してください

社団法人デジタル放送推進協会 Dpa http://www.dpa.or.jp

受信チャンネルについて

Q チャンネルスキャンに失敗する

A アンテナ線の接続や、分配・混合は、正しく行っていますか？もう一度セットアップガイドを確認しながら接続してみてください。

A お住まいの地域は地上デジタル放送の受信エリア内ですか？社団法人デジタル放送推進協会 [Dpa] のウェブサイトを確認してください。

A 本機の設定を初期化（P.33）してから、再度スキャンしなおしてください。

Q 番組表で表示されないチャンネルがある

A 番組表の［番組表メニュー］－［番組表取得］（P.15）で、番組表を取得してください。

※ 番組表は 1 日に 1 回、リモコンで電源を切ってから約 10 分後に自動的に取得を開始されます。

Q 引越したのでチャンネルを変更したい

A メニュー項目の［チャンネルスキャン］（デジタル P.26、アナログ P.31）を行ってください。

Q 特定のチャンネルが映らない

A チャンネルの受信レベルは 60％以上ありますか？メニュー項目の［アンテナ設定］（P.28）で、確認してください。場合によってはブースター（増幅器）などの設置が必要な場合があります。

A アナログ放送では見ることができた放送局ですか？アンテナの設置方向の変更や改修工事をする必要があります。お買い上げ店または電気店などにご相談ください。
※ 県外の放送局などは見られなくなる場合もあります。

Q 映像が乱れる・止まる

A アンテナの向きが変わっていることが考えられます。アンテナの向きを確認してください。また、悪天候のときは、映像が乱れることがあります。

A 本製品とアンテナ線が正しく接続されていますか？接続を確認してください。
あわせて、アンテナ線のプラグの中にある芯線が折れていないかどうか、確認してください。

セットアップガイド

A 視聴中や待機中など、本製品が通電状態のときに B-CAS カードを抜き挿しすると、放送波が受信できなくなります。この場合は、一度電源プラグをコンセントから抜いて、電源を入れなおしてください。

Q 全チャンネルが映らない

A 地上デジタル放送の受信エリアですか？
詳しくは社団法人デジタル放送推進協会 [Dpa]「http://www.dpa.or.jp/」のウェブサイトで確認できます。

A 本製品とアンテナ線は正しく接続されていますか？接続を確認してください。

セットアップガイド

A B-CAS カードはきちんと挿さっていますか？もう一度確認してください。

セットアップガイド

A チャンネルスキャン（デジタル P.26、アナログ P.31）をもう一度行ってください。

A リモコンの [デジタル] ボタンを押して、デジタル放送に切り換えてください。

P.8「リモコンの機能」

A 受信環境を確認してください。

【アンテナで受信している場合】

- 地上デジタル放送対応の UHF アンテナが設置されていますか？
- アンテナの向きは正しいですか？
- 受信レベル（P.28）は 60% 以上ありますか？

ご不明の場合は、電器店、またはアンテナ設置業者等にお問い合わせください。

【ケーブルテレビで受信している場合】

- ケーブルテレビはパススルー方式ですか？
- 受信レベル（P.28）は 60% 以上ありますか？

詳しくはご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

【共同アンテナやマンションなどの場合】

- アンテナ管理者やマンションの管理者に地上デジタル放送が受信可能か確認してください。

受信可能な場合は、チャンネルスキャン（デジタル P.26、アナログ P.31）をもう一度行ってください。

Q チャンネル番号がアナログ放送のときと違う

A 地上デジタル放送では、お住まいの地域や放送局によって、アナログ放送のチャンネル番号と割り当てが異なる場合があります。
リモコンボタンにお好みの放送局を割り当てる（P.27）ことで、アナログ放送のチャンネル番号に合わせることもできます。

本機について困ったとき
「困ったときは？」で解決できない場合、弊社サポート情報を参照してください。

株式会社ピクセラ サポート情報 http://www.pixela.co.jp/support/

※ それでも解決できない場合は、弊社ユーザーサポートセンターへお問い合わせください。

困ったときは：Q&A

映像と音声について

Q 音声が出ない

A 音声が極端に小さい、または消音になっていませんか？音量を上げる、または消音を解除してください。

P.8「リモコンの機能」

A ヘッドホンをつないでいませんか？ヘッドホンをつないでいる場合は、スピーカーから音声が出力されません。

A スピーカー出力がオフになっていませんか？
[トップメニュー] → [音声設定] → [スピーカー出力] で [オン] に設定してください。

A ビデオ入力や PC 入力の場合、本製品に音声ケーブルは正しく接続されていますか？接続をもう一度確認してください。

P.34「ビデオやHDDレコーダーと接続する」
P.36「パソコン(PC)と接続する」

A HDMI 入力の場合は、メニュー項目の [HDMI1 音声入力設定]（P.20）が接続した機器のモードになっているか確認してください。

Q 字幕は表示できますか？

A 字幕表示に対応した番組であれば表示できます。リモコンの [字幕] ボタンを押してください。

P.8「リモコンの機能」

Q 番組によって映像の縦横のサイズが自動で切り換わるのはなぜですか？

A 番組によっては、映像の上下や左右に黒い帯がついている場合があります。その場合に画面が自動で切り換わります。

Q 文字スーパーが表示されない

A 文字スーパーは地震や災害などの速報に用いられることが多いため、常に表示されるものではありません。

Q 同じ番組内での音声切換ができない

A 番組自体が複数音声のサービスを行っていない場合、切り換えられません。

Q 番組内での映像切換ができない

A 番組自体が複数映像のサービスを行っていない場合、切り換えられません。

はじめて電源を入れたとき

Q 電源が入らない

A 電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

セットアップガイド

A アンテナ線などの配線が正しく接続されているか確認してください。

セットアップガイド

Q 電源が入っているのにテレビに何も映らない

A B-CAS カードは正しく挿入されていますか？ B-CAS カードの種類、挿入方向を確認してください。

セットアップガイド

A デジタルテレビの場合は、受信レベル（P.28）を確認してください。受信レベル 60%以上が正常に受信できている目安です。

A はじめて電源を入れたとき、または引越などでテレビの受信地域が変わったときはチャンネル設定（デジタル P.26、アナログ P.31）をしてください。

Q 電源を入れてもすぐに映像が表示されない

A 起動の準備のため時間がかかる場合があります。

本体とリモコン操作について

Q 本体が熱くなる

A 本体内部の放熱のため、本体が熱くなることがあります。

Q 画面がきれいに見えない

A 視野角の範囲内でご覧ください。

P.4「視野角について」

Q 電源ランプがオレンジ色で点滅する

A テレビの電源を切る処理をしています。この間、リモコンでの操作はできません。

P.4「ランプの光り方」

Q リモコンの操作ができない

A リモコンを本機に向けて操作範囲内で操作してください。

セットアップガイド

A 電池の極性（＋、－）が逆になっていませんか？正しい極性で電池を入れなおしてください。

セットアップガイド

A リモコンの電池が消耗していませんか？電池を交換してください。

セットアップガイド

Q チャンネルを順送りに切り換えたときの順番がおかしい

A 全国ネットに属さない放送局や他県の放送局などは、リモコンに割り当てられた番号と昇順 / 降順の順番が違う場合があります。

Q チャンネルボタンを押しても、選局できないボタンがある

A チャンネルの割り当てがない場合は表示されません。リモコンボタンのチャンネル割り当て（P.27）を変更してください。

Q チャンネルの切り換えに時間がかかる

A アンテナで受信した信号を画面上に表示する処理をしているため、チャンネルや入力の切り換えに時間がかかっている場合があります。

Q チャンネル番号が画面から消えない

A リモコンの [画面表示] ボタンを押すと表示が消えます。

P.10「画面表示を確認する」

Q メニュー画面が消えない

A リモコンの [メニュー] ボタンを押してください。

Q リモコンを操作していないのに、チャンネルが切り換わる

A 赤外線機器やコンバーター機器がお近くにある場合、誤作動する可能性があります。なるべくそれらの機器から離してご使用ください。

その他

Q 保証書はどこにありますか？

A 本書と同じくビニール袋にまとまって入っています。

セットアップガイド

Q 内容品にアンテナ線が入っていない

A 本製品には付属していません。別途用意してください。

セットアップガイド

製品の操作方法、修理などのお問い合わせ

株式会社ピクセラ　ユーザーサポートセンター
受付時間：10 時から 18 時（年末年始、祝日を除く）

0120-727-231（無料）

携帯電話・PHS からおかけの場合や、フリーダイヤルを利用できない場合

TEL:06-6633-2990　FAX:06-6633-2992

使用上のご注意

本製品について

- 長時間使用すると、放熱のため本体が熱くなる場合があります。
- 本製品は、社団法人電波産業会（ARIB）が定める規格に準拠した仕様になっています。将来、規格の変更があった場合は、予告なしに仕様を変更する場合があります。
- 輝点・滅点について
  画面上の赤や青､緑の点（輝点）が消えなかったり､黒い点（滅点）がある場合がありますが、故障ではありません。液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。ご了承ください。
- 画面の焼き付き（残像）について
  一定時間同じ画面を表示し続けると、部分的に消えない焼き付き（残像）が発生します。この焼き付き（残像）を避けるために、一定時間同じ画面を表示することは極力避けてください。
  また、4：3の画像を長時間表示するとフルスクリーンの画像を表示したときに両側に輝度が異なる部分ができることがあります。できるだけフルスクリーンでお使いください。
- 壁掛けについて
  取り付け用の金具は付属していませんので、別途用意してください。また、取り付けるときは、かならず専門業者にご依頼ください。壁掛け金具の取り付けにより生じた直接、間接の損害につきましては、弊社はその責任を負いかねます。
- 本製品または、本製品のパッケージ、緩衝材などを廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の条例または規則に従ってください。

B-CASカードについて

- デジタル放送の受信には B-CAS カードが必要です。視聴するときは、本製品に付属の B-CAS カードが挿入されていることを確認してください。
- また、B-CAS カードを紛失、破損などされた場合は、B-CAS カスタマーセンター (http://www.b-cas.co.jp/) にお問い合わせください。
- 視聴中および待機中は B-CAS カードの抜き挿しをしないでください。B-CAS カードを抜き挿しするときは、電源プラグをコンセントからはずしてから行ってください。

本書について

- 本書で使用している画像は、実際とは異なる場合があります。
- 本書で使用している画像は、はめ込み合成です。
- 本書の内容の一部、およびすべてを無断で転載することは禁じられています。

商標について

- HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の商標もしくは登録商標です。
- 本書では、® および TM などの商標マークは省略させていただいております。

PRD-LF122B　定格

項目		仕様
外形寸法	スタンドを含む	約W53.6cm x H38.2cm x D16.3cm
	スタンド･突起部含まず	約W53.6cm x H36.1cm x D5.8cm
受信機型サイズ		22V
質量		約4.5kg
区分名		DK
動作環境	使用時	温度 0 ～40゜C 湿度 10 ～90% RH (結露なきこと)
	保管時	温度 −20～60゜C 湿度10～90% RH (結露なきこと)
角度調節	チルト	前 0゜　後ろ 10゜
液晶性能	縦横比	16 : 9
	解像度	1366 x 768 画素
	視野角	上下160゜ 左右170゜(TYP) ※コントラスト比10:1が確保できる角度
電源	使用電源	AC100 V 50Hz/60Hz
	消費電力	28 W
	年間消費電力（スタンダード時）	約37 kWh/年
	待機電力	0.5 W 以下
	音声出力	実用最大出力 3.0 W + 3.0 W (JEITA)
	スピーカー	アンダースピーカー
接続端子	電源ケーブル	AC100V 50Hz/60Hz
	アンテナ端子(F 型コネクタ)	デジタル/アナログ x 1系統 入力インピーダンス 75 Ω
	IR 受光部受光角度	上30゜ 下30゜ 左30゜ 右30゜
	HDMI入力	2系統
	ビデオ入力	1系統(RCA)
	音声入力（ビデオ用）	L/R(RCA)
	PC入力	1 系統(D-Sub15pin)
	音声入力(PC用)	3.5 φ ステレオミニジャック
	USB入力	USB2.0
	光デジタル音声出力	1 系統 ※AACには対応していません。
	ヘッドホン出力	3.5 φ ステレオミニジャック
受信放送		地上デジタルテレビジョン放送(ISDB-T)
		地上アナログ放送(NTSC-J)
		ケーブルテレビ(C13 ～C63)

※ 仕様および外観は、性能向上やその他の理由で、予告なく変更する場合があります。

- 区分名について
  「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビの画素数、表示素数、動画表示、および付属する機能の有無などに基づいて区分を行っています。その区分の名前です。
- 年間消費電力について
  省エネ法に基づいて、一般家庭での 1 日の平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

205000124-1